亜細亜然丁時報

CORREO ARGENTINO
FRANQUEO PAGADO
TARIFA REDUCIDA
CONCESION 718

社報時亜細亜然丁所発行
ブエノス・アイレス市
ウスアリア九八一
電話（三二）七〇五一
仙十五朝二額月料讀購

Director:
T. MIDZUNO
REDACCION:
Uspallata 981
U. T. 23, 7061

中、南太平洋方面各地の戰況

敵側の人的物的損害逐日增大

【東京廿九日】大本營十二月廿九日十六時發表　帝國海軍航空部隊は十二月廿六日正午ボルゲン灣の敵輸送船團を攻擊左の戰果を得たり

早朝ラボールに來襲せる敵戰鬪機約五十機を邀擊その三十一機（不確實十機）を擊墜せり　我方損害未歸還三機

【東京廿八日】大本營十二月廿八日十六時發表

一、わが守備部隊は十二月廿六日ニューブリテン島グロウスター岬東西兩岸に上陸せる敵を邀擊これと激戰中なり

二、帝國海軍航空部隊は十二月廿六日正午ボルゲン灣の敵輸送船團を攻擊左の戰果を得たり

擊沈＝大型巡洋艦二隻、大型輸送船二隻

擊破＝大型輸送船三隻（沈沒概ね確實）

擊墜二十機（不確實五）

我方損害＝未歸還十七機

三、帝國海軍航空部隊は十二月廿七日未明マーカス岬附近敵舟艇及び陣地を攻擊次の戰果を得たり

擊沈＝特殊輸送船二隻（兵員滿載）魚雷艇二隻

擊墜十八機（不確實四）爆碎炎上三ケ所、我方損害未歸還七機

四、帝國海軍航空部隊は十二月廿七日ラボールに來襲せる敵機約五十機を邀擊その二十三機（不確實八）を擊墜せり、我方未歸還六機

【東京廿七日】大本營十二月廿七日十六時發表

一、わがニューアイルランド島カビエング所在部隊は十二月廿五日早朝同地に來襲せる敵艦上機約百二十機を邀擊その三機を擊墜せり、我方損害輕微

二、帝國海軍航空部隊は十二月廿九日夕刻ブーゲンヴイル島北方海面に於て右機動部隊を攻擊艦種未詳一隻を擊沈せり、我方未歸還四機

三、帝國海軍航空部隊は十二月廿五日朝ラボールに來襲せる敵機約七十機を邀擊その二十機（不確實二）を擊墜せり、我方未歸還三機

四、帝國海軍航空部隊は十二月廿六日未明マーカス岬附近敵船舶及びビレロ島敵據點を爆擊左の戰果を得たり

イ、敵に與へたる損害

擊沈＝海上トラック一隻、（沈沒概ぬ確實）特殊小型輸送船二隻

擊破＝特殊小型輸送船二隻（炎上大破）上陸用舟艇一隻（炎上大破）騙潛艇一隻（炎上大破）爆破炎上二ケ所（ビレロ島は我方の連爆により燒野原と化せり）

ロ、我方損害未歸還二機

ラボール奪回を敵企圖

讀賣報知、毎日新聞の論調

【東京廿八日】ニューブリテン島方面最近の戰況に關する近敵舟艇及び陣地を攻擊次の戰果を得たり

擊沈＝特殊輸送船二隻（兵員滿載）魚雷艇二隻

擊墜十八機（不確實四）爆碎炎上三ケ所、我方損害未歸還七機

四、帝國海軍航空部隊は十二月廿七日ラボールに來襲せる敵機約五十機を邀擊その三十一機（不確實十機）を擊墜

【東京廿八日】ニューブリテン島方面最近の戰況に關する近づきつゝあることは事實で都下各紙の論調は執れも戰局の推移を重大視し、ラボール奪回を以て中部太平洋の制海權を確保せんとする敵側の企圖に言及した後、我方補給を全ふせしむるとゝもに敵側補給を阻止すべき航空部隊の重大任務を指摘してゐるが、ラボールは東京灣の出口にある重要基地たる召關を奇襲、敵軍事施設を爆碎し特に召關停車場に對し猛爆を加へて二ケ所に大火災を生ぜしめたほか港内に碇泊中の敵船舶三隻に直擊彈を與へ我方全機無事歸還した

【支那前線基地廿八日】帝國陸軍航空部隊は廿七日午後江西省川飛行場を攻擊挑戰した

右は我方の飛行機不足を端的に物語るものである」と述べまた毎日新聞は「ラボール攻防戰が日本から遠く離れた所で行はれてゐるものと信ずれば右は大なる謬見といはねばならぬ、觀念的に考察してラボールは東京灣の出口にあるのである、若し敵をしてラボールを奪回せしむれば全戰線に及ぼす影響は蓋し深刻なものとならう」と論評し國民に對し警告を發してゐる

在支陸鷲部隊各地の敵基地攻撃

【支那前線基地廿九日】帝國陸軍航空部隊は廿七日朝戰爆聯合の編隊を以つて廣東省敵演じ敵ビー四〇型及ビー五一型合せて七機を擊墜ビー二五歸還した

【支那前線基地廿八日】帝國來つた敵機二十數機と二十分型二機ビー四〇型二機を炎上以上にわたり猛烈な空中戰をしたほかビー二五型五機を地

陸鷲のチッタゴン攻撃

【ビルマ前線基地廿八日】帝國陸軍航空部隊は廿六日戰爆聯合の大編隊を以つて雨季明け後第二回目のチッタゴン攻擊を敢行、港内碇泊中の五千噸級輸送船一隻に直擊彈を與へて大火災を生ぜしめるとゝもに、埠頭及び倉庫群を粉碎したほか敵戰鬪機二十數機と激烈な空中戰を交へスピットファイアー型七機（内不確實一）及びノースアメリカン・ビー・五〇型一機を擊墜したが我方もまた自爆三機の尊い犠牲を出した

洞庭湖西方の敵を覆滅

我軍目的完了原態勢に復歸

【東京廿九日】大本營十二月廿九日十四時發表

一、十一月二日以來洞庭湖西方地區に作戰展開中なりし帝國陸軍部隊は敵防衛の根幹たる第六、第九戰區の敵兵力を覆滅するとゝもに常德周邊の全敵軍事施設を完全に破壞せり

二、帝國陸軍部隊は十二月廿五日所期の目的を完了原態勢に復體せり

三、帝國陸軍部隊は右作戰の間左の戰果を收めたり

敵に與へた損害＝遺棄屍體三萬二千七百四十七、捕虜一萬四千三百二十五名、常德附近において擊墜せるもの六十機、鹵獲品各種火砲十八軍及び湖北省漁洋關東南百五十八門、重輕機六百五十七挺、小銃六千三百五十六挺及び各種彈藥二百三十六萬發

我方損害戰死一千六百六十六名

【漢口廿八日】帝國陸軍精鋭部隊は漢陽河畔區において重慶がその最強を誇つた江防第十八軍及び湖北省漁洋關東南地區の第百八十五師に致命的大打擊を與敵を西方に潰走せしめた戰果次の通り

敵遺棄屍體一千四十一、捕虜二十名、機關銃四挺、小銃五百挺、其他彈藥多數

聖上陛下の御親臨仰ぎ

第八十四帝國議會開院

【東京廿七日】畏くも聖上陛下におかせられては昨廿六日午前第八十四帝國議會開院式に御親臨あらせられ議員一同に對し皇軍の赫々たる大戰果に應へ一意專心立法の重責を完かしめよとの優渥なる勅語を賜はりその向ふ所を御垂示遊ばされた、尚選擧の結果總務委員會委員長には牧野敏夫、豫算委員會委員長には清水留三郎、增稅委員會委員長には勝正憲が任命されたが、本日の議會において見るはずである、而して必要は陸海兩相の戰況報告のみがあり行はれ恒例により一月二十日まで休會同二十日再び開會をゐる

島田海相の戰況報告

【東京廿八日】島田海相は昨日の衆議院總會に於て海軍關出來得る限りの努力をなしつは牧野敏夫、請願委員會委員長及び國海軍は太平洋より印度洋に洋及び印度洋における海軍の戰況並に十月以來のわが潛水艦作戰狀況を報告した

印度洋作戰に關しては「わが國は陸海兩相の戰況報告のみがの際は何時でも議會を開始することができることになつて

諸地域の天然資源を開發の上に於て海軍關出來得る限りの努力をなしつ

と述べ、さらに太平洋における海軍の戰況並に十月以來のわが潛水艦作戰狀況を報告した

印度洋作戰に關しては「わが國は太平洋より印度洋に國海軍は太平洋より印度洋における海軍の戰況並に十月以來のわが潛水艦作戰狀況を報告した

印度洋作戰に關しては「わが國

組合情報

【264】

ブエノス アイレス花卉産業組合報告

▲市價（廿四日七時調査）二日前迄まで著しい低廉さを示してゐた市價はナビダの影響をうけて急に昂騰したとは云ふものゝ昨年の市價に較べてなほ一四割安であつた。廿四日朝七時の市價を示せば左の如くである

◎クラベル　百花
ア、ホワイト　十一十三
ベッテイ、ルー　十一十二
バルバラ、フアー　九一十
バ、ブライガム　十二一十八
フレッシュ、ピンク　十一十五
◎其他
インプロ、ベッテイ　十一十三
ジョン、マリー　十一十二
レディ、ヒンドリツプ　五一七
オレンジ、ワンダー　十一十三
ビユリタン　八一十二
バトリシアン　十二一十七
ピター、フイシヤ　六一十
ピンク、スペツクトラム　七一十一
スノー、ホワイト　五一八
サルモン、ベッテイ　六一九
サキセングルス　十一十五
ホワイト、ベッテイ　十一十二
◎薔薇　四打
ブライアー、クリーフ　四一六
ベター、タイムス　四一六
ジョアナ、ヒル　六一十
クキーン、メリー　八一十二
ラディアンス　百花　二
ローム、グローリー　六一十
タリスマン　三一五
エルス、ブルセン　四一六
◎グラディオラス　二打
メ、オルレーアンス　三一四
マシヤール、フオシユ　二一三
オレンジ、プリンス　二一四
ビカルディ　三一四
ダリア　一打
オルテンシア　一打
アガパントス　二打
カーラ　一一二
アスセーナ　二打
ハスミン　以下百花
ダリア（ポンポン）　一一三
シニア　二
マルガリータ七十仙一八十仙
蘇鐵葉　二打
アルボル、デ・ナビダ　一束
因に當日の入場カナスタ總數七三九個に達した。

禮御

拜啓　時下益々御清榮之段奉賀候
陳者本會は昭和十八年度各位の寄せられたる御熱援に對し誠に有難く存奉候　依而茲に厚く御禮申上候
尚今後共御支援の程願上申候　右乍略儀以紙上迄御禮如斯候

昭和十八年十二月廿八日
コルドバ日本人會
會長　上原清次

各位

寄附者芳名（略敬稱）

◎本會々計へ
五拾弗宛　栗林一二、吉宮昇一小林恒治一福家美夫
貳拾弗　新宅隆一
◎學校會計へ
百弗宛　宮崎五郎、飯野榮作
仲宗根金松一同靜子
五拾弗宛　森田吉太郎、仲宗根正松
四拾弗宛　諸喜田福生、上間善光、大城幸四郎
參拾弗宛　平松孫市、大城幸松
貳拾弗宛　水野勉、齋藤彦藏
饒平名知榮、山口吉三郎、比嘉榮輝
拾五弗　上原清武一同弘子
拾弗宛　金城庄庫、内間貞助
與那嶺庄五郎、K生
◎墓所管理會計へ
五拾弗　喜納政賀
參拾弗　仲宗根金松
拾弗宛　東新善正榮、諸喜田福壽、與那嶺庄進、諸喜田福生、上間善光、大城幸四郎
五弗宛　菅原長吉、宮内壽

尋ネ人

謝花喜良右の者の住所御存知の方は御手數乍ら本社まで御一報相煩し度し

醤油取次

ブエノスの邦人製造の醤油取次取賣致します
ロサリオ市
コリエンテス街一七四四
西郷

だるま饅頭

其他かまぼこ、すし等を特に念入でおいしく調製致します
◎毎土、日曜日御用命次第配達します
◎法要、出生祝、其他催事の仕出しに應じます

だるま亭
ボリーバル街一五五六
電話　二三一四〇九二

讓受廣告

私共三名にて今般サンテアゴ・デル・エステーロ市に於ける石原日經營のカフエーコンフイテリア、ヴイリヤールの店三軒を讓受けて來る昭和十九年二月一日より共營することに相成りましたから此段廣告致します
昭和十八年十二月十六日

比嘉榮輝
比嘉牛賀
儀間康英

製造販賣

◎蚊取線香（安價にして効力保證）
◎芳香線香各種
◎佛事用線香（お灸兼用）
地方代金引換小包送料及び手數共一箱金四弗七十仙
製造所
バルカルセ街一四七一
電話　三三一四八八七
片山良平

醤油販賣

當地醸造の極上等品です
一立一弗四十仙
多少に不拘御用命下さい

富崎商店
市内エルナンダリア街一五四四番
電話　二一一二九〇三

國分齒科醫院

カリヤオ街一二一九番五階
電話　四二一一八〇一三

營業案内

一、一般金融及ビ投資
一、證券ノ買付及ビ保管
一、土地家屋店舗ノ賣買仲介
一、地券及ビ一般契約書ノ調査
其他各種ノ調査御相談ニ應ジマス

亞南信託株式會社
デフエンサ街五一〇
電話三四一二八二六
三四一四四五九

日本食料品

榮養に富み、上品な味、純日本人向新荷着!!
□鯛みじん
□ミリン干
□干海老
○ビハの罐詰、其他新鮮美味な小魚類の干物
◆醤油及び味噌の大量釀造販賣を致します

西坂商店
アウストラリア街一一〇一
電話　二一一二九一五

▼……廣告は時報社へ……

耳鼻咽喉科專門

獨逸病院耳鼻科々長
ドクトル　フレルス
診察時間　午後二時より五時迄（土曜日を除く）
スイパチャ街六七〇
電話三五一一三二〇

Dr. ERNESTO T. FRERS
Enfermedades de Garganta, Nariz y Oídos
Jefe de la especialidad en el Hospital Alemán

OBSTETRICA
ELISA YAMAUCHI
Diplomada en la Facultad de Ciencias Médicas de Buenos Aires
U. T. 26 Garay 3778
—當分の間往診のみ御引受致します—
ブエノス・アイレス醫科大學產科卒業
公認助產婦
山内エリサ
電話（26）ガライ 3778

Dr. Franz Robbers
Jefe de Clinica Médica del Hospital Alemán
CHARCAS 929
2o piso
U. T. (31) 8793

獨逸病院內科部長
ドクトル　ローベルス
◎診察時間　午後三時より五時まで（土曜日を除く）
テヤルカス街二九二（二階）

CINE
Astoria
Suipacha 482　U. T. 35-0156

急降下爆擊機隊
ウーフア社提供目下上映中
◎毎日十二時半より二十四時まで連續映寫
◎入場料　二弗

Taller Mecanico
dè G. GONZALEZ
他其繕修のラデルカルデ機ヤチランブ
San José 220 U. T. 38-5923

寄ネ人

日本人は日本品を
萬年筆は
日本製「パイロット」

日本座敷文化住宅
大工指物師山本玄
市内　ビージヤ・マルチレ區スフラテギ四番
電話七四一（フロリダ）三一五〇

建築

▼……領事館
▼……銀行
▼……組合社……に近く

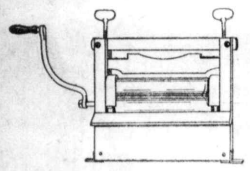
御乘船御下船の便よし……
◎地方より出武の節は是非御立寄願ひます
御下宿
御旅館
昭和館
ベンテシンコ・デ・マーヨ街三三〇
電話三一一五一四五

Medicinal News
28 - Suipacha - 28

◈淋病梅毒
治療代は全治後頂きます
◈肺結核新療法
◈婦人科
◈電氣治療科
◈X光線科
—各科專門醫十名—
診察料　三ペソ
時間　午前九時—十二時　午後三時—八時
◈日曜祭日は午前中
◈血液、尿、喀痰の檢査は武市大學教授ロツフオ博士が擔當して居ります

CASA "YAMANAKA"
加藤商會
VIAMONTE 624
U. T. 31, Retiro 7846
Buenos Aires

代理業
Representaciones y Comisiones
S. FUJII
藤井精四郎
Calle Santa Rosa 47 - U. T. 98095
Córdoba



クエジヨ用セカドール
製造販賣
ブエレドン街一〇二八
電話四一一五五八九
ベルナルド・デ・イリゴジエン街一二二四
電話二三一九六一六
オリエンテ商會

◈邦人間唯一染色の工場
◈設備完全
藤染色工場
アベヤジネダ市ラカラア街一四一七
電話二二一七七一五

パナマ帽子洗濯專門

弊店はロサーネス法によつてパンコック、ルスティツク、シソール其他如何なる種類のパナマ帽子と雖も必ず御氣に召しますやう洗濯致します。何卒日本人各位の御愛顧御引立の程御願ひ申上げます
スタツフオリーニ商會
ホセ・ウリブール街三二七
電話　三四一七七三一

時計販賣

並びに修繕
○裝身具各種取揃へて居ります
○電話で御一報次第參上致します

東京堂時計店
エントレ・リオ街五四一
電話　三八一五六一七

ス　リ　マ

デフエンサ街七一七
電話（三三）四三八二

◎スモーキング　十三弗より廿七弗まで
◎サコ・コルト　九弗五十仙より二十四弗まで
◎パンタロン・ネグロ　十六弗五十仙
◎カミサ・ブランカ　七弗五〇十弗五十仙
◎地方よりの御注文はピヤロンガ便にて、代金引換で送ります

ラ・ムスメ

Suipacha 359 U. T. 35-2565
納涼と安眠
岐阜提灯に蚊取線香
年末年始の御贈答用に
パイロット万年筆
種々の珍らしい
御贈答用品
取揃て御座居ます

DOMINGO MARIMÓN
Calle Cordoba 1187
U. T. 64 Cosquin

◈電報或は電話にて御一報ドさるか又は療養所係員よりの御申越あり次第御遺骸他地方への移送手續其他萬端御用命に應ず
◈武市へは十二時間以內其他地方へも可及的速に御移送申上ぐ

在コスキン町
日本人御用
ドミンゴ・マリモーン
葬儀社

アンチヨレイタ新出荷

是非亞國の美味な鰹の干物を御がん味下さい
上品な味、榮養に富み、高尚な加工品として知られ殊に子供の食膳に喜ばれます
◈其他鯛みじん、小魚類の煮干、ミリン干、干蝦
◈銀產組合花卉組合及び西坂商店にありますから御求め下さい

マル・デル・プラタ市
梶原

山本寶雄

市内エントレ・リオス九七三番地（一階）
電話　二三一〇五四二

日本人最古の洋服店
片山洋服店

ピエドラス街五七二
電話三三一五四五二

Dr. A. GODEL
MEDICO CIRUJANO
Bmè. MITRE 1676 1er. Piso

◎最新式獨逸療法
淋病—根治療法
梅毒—六〇六號九一四號
婦人病　心臟　胃腸
肺　腎臟　神經系統
各科專門
◎日本人方には初診無料
X光線　デアテルミー
血液檢査
診察日（自午前八時至九時　自午後四時至八時）
日曜、祭日午前中

RAPIDEZ - ECONOMIA
JRUGUAY 745 - U. T. 42-5748
Sebastián Rosselló
MARTILLERO PUBLICO

◈ネゴ・シヨの○買
◉市役所の出願手續
◉法律事務一切
迅速且つ手數料
大勉强で取扱ひます

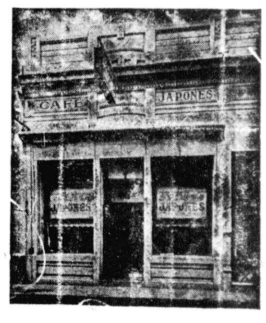
EUSEBIO MIRANDA
TALLERES
CORRIENTES 5802
Esq. J. B. Justo
U. T. 54 - 2390

◈カルデラ大小型各種販賣
修繕及び製造販賣特別大勉强
日本人には特に親切叮嚀仕事入念に致してをります

Sastreria
"Florida"
Florida 377-1. piso U. T. 32-3172

世界的に好評のある洋服地カシミレスで……貴方の趣味と身體にピツタリ合ふやうに仕立てます
……◈……
日本人には特に大勉强!!
月賦拂の便宜もありますから一度御來店の上自由に布地を撰擇し御趣味の型を御注文下されば幸ひです

CAFE JAPONES
K. UCHINO
LAS HERAS 667　TUCUMAN



ツクマン市
内野喜吉

新年特別號

年頭の辭に代へて

大東亞戰下赫々たる戰捷裡の裏には凡ゆる銃後國民の力が綜合されてゐるのであつて、我國の戰力增强、生產力擴充は政治力强化と共に驚異的飛躍を遂げつゝある。

昭和十六年十二月八日、畏くも宣戰の大詔煥發せられて以來、米英擊滅の征戰は早くも第三年に入つた。帝國は開戰第一年度において、御稜威の下、忠勇なる皇軍將兵の力戰奮鬪の結果、敵の東亞侵略據點を悉く掌中に收め、必勝不敗の態勢を確立すると共に、雄渾なる大東亞共榮圈の建設に着手したのである。

斯くて軍事的に政治的に將又經濟的に必勝不敗態勢の基礎を築いた帝國は、征戰第二年度において戰力增强、生產力擴充及び政治力强化に努める一方、政治外交攻勢を展開して大東亞の總力結集を圖つた。この間戰略的には敵側の所謂對日總反抗を完封すべく敵戰力破壞作戰が間斷なく行はれ、陸に海に空に敵側に甚大なる損害を與へた。しかし我方もまた北のアッツ島南のタラワ、マキン兩島において壯烈鬼神を哭かしむる全員玉碎といふ忠勇無雙の將兵が護國の人柱と散華した事實もあり、長期戰の容相は愈々深刻化の一途を辿りつゝある。

乍然、大東亞戰二年度の政略面においては、大東亞共榮圈建設への目覺ましき邁進振りが如實に示された。即ち對支租界返還、課稅權移讓、日華平等の同盟條約締結等。更にビルマ、比律賓の獨立に伴ふ日緬、日比の兩國同盟條約締結、泰緬兩國への新領土編入、インドネシア民族に對する政治參與等の具體的委をとつて明示され、また自由印度假政府樹立と之が承認も帝國邊なる皇恩の萬一に酬ひ奉の政治攻勢に負ふ所甚大であつて、之等は總て「万邦各々その所を得さしむる」といふ皇國不退轉の理想の顯現に他ならぬのである。

而してこの具體的大東亞共榮圈建設を基礎に政治、軍事、文化の各般に亘つて「亞細亞は一つなり」の大宣言が大東亞會議によつて闡明され、この大東亞宣言に基いて大東亞各國各民族十億の力を結集して以つて世界新秩序建設に貢獻するといふ崇高な理想具現への進展となつた。勿論斯うして驚くべき共榮圈建設は戰線における敵擊滅の大戰果が基礎となつてをり、この大戰果は米英聯合軍を相手にしてゐる貫かねばならぬことは、車の一へんとする如き不遜なる態度は獨逸は、周知の如く一九四三年の戰況は必ずしも有利とは云へなかつた。即ち對ソ聯の夏季攻勢による後退作戰、米英軍の北阿制壓によるシシリー島上陸、ムソリーニ首相の失脚とバドリオの裏切り、敵軍の南部伊太利上陸、米英空軍の對獨本土攻勢等々、米英側の神經戰に從へば獨逸は早晩內部から崩壞するかの如き惡質宣傳も飛ばされた。しかし斯る宣傳は事實を去ること遠き謀略宣傳たること謂ふまでもなく、ヒツトラー總統の歷史的快擧たるムソリーニ首相の救出あり、獨伊樞軸の完全なる崩壞を免がれると共に、獨逸の戰爭完遂決意はます〳〵堅め、やゝもすれば四圍の平和に慣れ勝ちであるが、祖國がその後も引續き英米の執拗なる反擊に拘らず敵に甚大の損害を與へつゝあり、而も其の確保せる地歩は微動だにもしない。

帝國は緒戰に於て必勝不敗の地位を確保したが、我方は飽迄我方は假令戰爭が幾十年繼續しやうとも斷じて正義の矛を收むるものではない。

翻つて日亞關係を見るに吾等の在留する亞國が幾多の困難を排しつゝ能く自主に基く外交を堅持し其の中立的政策が國民性と一脈相通ずるものを維持しつゝあることは寔に尊敬措く能はざる所である。而して日亞の國交關係は時局柄平時に比し幾多の障害を受けながらも其の根本に於ては親善關係が維持せられて居ることは兩國の爲め大慶の至りである。將來の日亞關係は共の物的方面に於て有無相通ずる等戰前より一層緊密なる關係を生ずべきこと明かである。最近子が深く感ずる所は國民たるの襟度を持し立派に行動せられんことである。更に至らしめた所以である。從つて戰爭勃發の責は全方國策遂行の爲め國を賭して英米並に其の與國の有害なる勢力を驅除せんと戰ひつゝある次第である。而して我邦と現に敵米英ソの凡ゆる反抗と敢然戰ひながら、歐洲要塞にる次第である。

斯の如き現段階の政戰兩面の實情下において、大東亞戰より米英擊滅の征戰は早くも第三年に入つたのである。帝國は開戰第一年度において、御稜威の下、忠勇なる皇軍將兵の力戰奮鬪の結果、敵の東亞侵略據點を悉く掌中に收め、必勝不敗の態勢を確立すると共に、雄渾なる大東亞共榮圈の建設に着手したのである。

斯くて軍事的に政治的に將又經濟的に必勝不敗態勢の基礎を築いた帝國は、征戰第二年度において戰力增强、生產力擴充及び政治力强化に努める一方、政治外交攻勢を展開して大東亞の總力結集を圖つた。この間戰略的には敵側の所謂對日總反抗を完封すべく敵戰力破壞作戰が間斷なく行はれ、陸に海に空に敵側に甚大なる損害を與へた。しかし我方もまた北のアッツ島南のタラワ、マキン兩島において壯烈鬼神を哭かしむる全員玉碎といふ忠勇無雙の將兵が護國の人柱と散華した事實もあり、長期戰の容相は愈々深刻化の一途を辿りつゝある。

乍然、大東亞戰二年度の政略面においては、大東亞共榮圈建設への目覺ましき邁進振りが如實に示された。即ち對支租界返還、課稅權移讓、日華平等の同盟條約締結等。更にビルマ、比律賓の獨立に伴ふ日緬、日比の兩國同盟條約締結、泰緬兩國への新領土編入、インドネシア民族に對する政治參與等の具體的委をとつて明示され、また自由印度假政府樹立と之が承認も帝國邊なる皇恩の萬一に酬ひ奉の政治攻勢に負ふ所甚大であつて、之等は總て「万邦各々その所を得さしむる」といふ皇國不退轉の理想の顯現に他ならぬのである。

而してこの具體的大東亞共榮圈建設を基礎に政治、軍事、文化の各般に亘つて「亞細亞は一つなり」の大宣言が大東亞會議によつて闡明され、この大東亞宣言に基いて大東亞各國各民族十億の力を結集して以つて世界新秩序建設に貢獻するといふ崇高な理想具現への進展となつた。勿論斯うして驚くべき共榮圈建設は戰線における敵擊滅の大戰果が基礎となつてをり、この大戰果は米英聯合軍を相手にしてゐる貫かねばならぬことは、車の一へんとする如き不遜なる態度は獨逸は、周知の如く一九四三年の戰況は必ずしも有利とは云へなかつた。即ち對ソ聯の夏季攻勢による後退作戰、米英軍の北阿制壓によるシシリー島上陸、ムソリーニ首相の失脚とバドリオの裏切り、敵軍の南部伊太利上陸、米英空軍の對獨本土攻勢等々、米英側の神經戰に從へば獨逸は早晩內部から崩壞するかの如き惡質宣傳も飛ばされた。しかし斯る宣傳は事實を去ること遠き謀略宣傳たること謂ふまでもなく、ヒツトラー總統の歷史的快擧たるムソリーニ首相の救出あり、獨伊樞軸の完全なる崩壞を免がれると共に、獨逸の戰爭完遂決意はます〳〵堅め、やゝもすれば四圍の平和に慣れ勝ちであるが、祖國がその後も引續き英米の執拗なる反擊に拘らず敵に甚大の損害を與へつゝあり、而も其の確保せる地歩は微動だにもしない。

帝國は緒戰に於て必勝不敗の地位を確保したが、我方は飽迄我方は假令戰爭が幾十年繼續しやうとも斷じて正義の矛を收むるものではない。

翻つて日亞關係を見るに吾等の在留する亞國が幾多の困難を排しつゝ能く自主に基く外交を堅持し其の中立的政策が國民性と一脈相通ずるものを維持しつゝあることは寔に尊敬措く能はざる所である。而して日亞の國交關係は時局柄平時に比し幾多の障害を受化する基礎をなすものである。

猶ほ此の際予が在亞同胞に對し切望する所は各位が此の親善關係を生ずべきこと明かである。

聊か所感を述べて年頭の辭とす。

皇紀二千六百四年元旦

年頭の辭

特命全權大使　男爵　富井周

茲に皇紀二千六百四年を迎へ、謹しみて遙かに聖壽の萬歲と御皇室の榮榮とを祝し奉る。

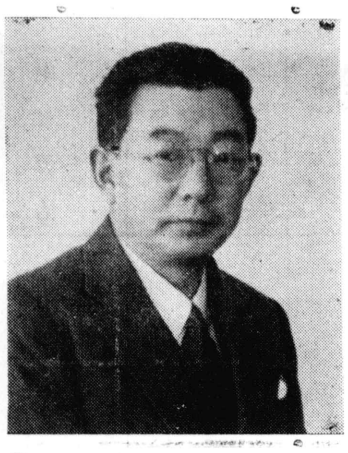
畏くも　聖上陛下に於せられましては玉體彌々御健に渡らせられ日夜政務に御精勵遊ばさるゝ一方民草の上にもの目的とする所も遠い」と述べ深き思ひを垂れさせ給ふ趣きべて置いたが、元來我が國策漏れ承る處、寔に拜察するだに恐れ多い極みである。

「今次の戰爭は因る所深く其夫々目覺しき內部の發展を見て」と謂ふ言葉は獨立し泰國の國力は益々充實し又南太平洋の諸地域に於ては原住民の政治參與が認めらるゝに至り、漸くて各自の自覺に基く世界の新秩序樹立の目的に對し相互に充分の理解と同情とを固となりつゝある。其の因て來る所は我方の國策が前記の通り公正にして國民全體に徹底せられて居ること、國一致滅私奉公以て國難に殉ずる決意を有すること、今日帝國は廣大なる占領地域內に殆ど無盡藏の資源を擁して之を開拓利用し得る立場にあること、我には苦心の結果築き上げたる科學に對する優秀なる知識と技術あること、更に東亞共榮圈の諸國も帝國の國策に衷心から共鳴して鐵石の誓を以て其の行動を共にして居ることに在る。蓋し此等諸事項の綜合發動せらるゝ時は如何なる諸國の集團と雖も之に抗抗し得ざるは明である。是吾等が絕體不敗必勝の信念を益々固ふする所以である。

之に反し敵側の宣傳する所は名はデモクラシー擁護或は永久の平和樹立と云ふ美辭麗句に盛られて居るが、其の實は飽くことをなき搾取政策即ち舊態の帝國主義の延長に過ぎず、世界を自分達に好都合な色で塗り潰さんとするに在る。

ので、右はカイロ會談の決議によるも其の一端を窺知し得るであらう。

戰爭は開戰以來已に二ヶ年を經たるに拘らず今後も猶ほ長きに亘り峻烈に繼續せらるゝこと豫想せらるゝが、敵が將來引續き此等の戰鬪に於て多大の損失を繰返し、而も我方の地歩微動だもせざる事態に直面する時敵側爲政者達は最早之を國民に隱匿し得ざるであらう。其の時に於て敵如何なる手段を用ひて他人種犧牲を殺戮するも正當なりとする



ートの赫々たる戰果は國民必落等を恐るゝに因るものにして勝の信念を更に强固ならしめて、數百萬の大軍を幾千浬の暇なきも最近の顯著なる事件につき二三卑見を述ぶれば、

凡そ現代の悲喜劇とも云ふべきは米國のニュース檢閱問題ならん。米當局は太平洋其の他に於ける敗戰や大損害を或はギルバート戰の徒に犧牲多くして効少さを難ずるものあり、又はタラワ戰ニュース映畫の取扱に關し紛爭を惹起ざるを難じ居るは、所謂河豚の毒瓦斯戰に訴ふは食ひたし命は惜しゝの類にして、甚しきは毒瓦斯戰に訴ふは食ひたし命は惜しゝの類にべしなと血迷へる暴論すら生べしなと血迷へる暴論すら生て矛盾も甚だしと云ふべく、ずるに至りしを見ても察する之を如何に解決するやは興味を得べし。注意すべきは右毒瓦斯論の根底をなすものはアングロサクソン保存の爲にはるも之に達するには尙多大の如何なる手段を用ひて他人種犧牲と長年月とを要するを覺

年頭の辭

海軍少將　雪下勝美

皇紀二千六百四年の新春を所謂「アングロサクソン」にあらず。

謹みて　聖壽の無窮を祈り奉り國運の隆昌と皇軍の武運長久とを念じ吾人の身代りとなりて散華せられし護國の英靈に對し深甚の哀悼と感謝の意を捧ぐ。

戰局に關しては詳述するの遑なきも最近の顯著なる事件につき二三卑見を述ぶれば、

米が多大の犧牲を忍びても遮二無二攻擊を急ぐは察するに內は國內情勢の窮迫と外は國の勝利に貢獻じ得べきかを焦慮するのみ。人或は云はん故國との交通も極度に制限せられある遠隔の地に於て斯の如きは蓋し不可能事なりと。然れ共意志の存する所必ずや道あらん。要は其の意志の强弱如何にあり。

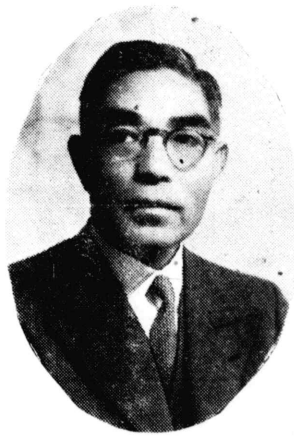
故國の同胞は日支事變中に於てすら多大の犧牲と不自由とに甘んじ、官廳等に於ても殆んど休暇休日を廢し大臣、總長と雖も定刻一分も缺かさず登廳せられある狀況なりしを思へば、昨今の緊張振りは察するに餘りあり。敵側に於ては最早英皇帝は風呂の湯を五インチに制限し、ル大統領はクリスマストリーを廢せりと聞く。亞國は事情異なる故必ずしも之に倣ふ能はざるべしと雖、要は精神にあり。在亞邦人はよく法律を守り誠に善良なる市民なりとは屢々亞國人より聞く所にして一片の世辭に非ずと信ずるも、戰爭頭初の緊張が年と共に弛緩し皇國民として內外人に指彈せらるゝ如き事ありては、內地の銃後に對しても相濟まぬ次第なればお互に一層自肅自戒の發揮すると共に、亞國の國際的立場を充分尊重し其の法規を遵守するは勿論、常に日本國民たるの襟度を持し立派に行動せられんことである。更に全ての在亞邦人に課せられたる一つの大なる勤めは我が國策並に戰局の進展等に付き各自が夫々接觸する範圍內に於て亞國人に適切な說明を加へ、以て彼等に充分なる理解を與へることに在るが右は日亞兩國の親善關係に顯著なる貢獻をなすべきこと明かである。

聊か所感を述べて年頭の辭とす。

皇紀二千六百四年元旦

年頭之辭

帝國領事　大森元一郎



謹々たる大捷の裡に本日茲に大東亞戰下第三回の新年を迎へ恭しく聖壽の無窮を祈り奉る。

昭和十六年十二月八日畏くも宣戰の大詔煥發せらるゝや悠久二千六百有餘年培はれ來たれる皇國精神は彌が上にも昂揚し、御稜威の下前線銃後一丸の奉公は絶對必勝の基礎を確立し進んで大東亞精神の覺醒を促し大東亞民族を結集し、餘裕綽々として一路道義に基く大東亞共榮圏建設に邁進し全東亞民族の必勝の信念は愈々堅きものがある。

在亞邦人は開戰當初より今次聖戰の意義を充分に認識し、時局に伴ひあらゆる不便不利を甘受し、隠忍克く各自の職域に精勵すると共に自肅自戒、大國民の面目を遺憾なく發揚しつゝあるは慶祝に堪へず、隆々たる祖國の進運に遇ひ今や在亞邦人の前途は光明と希望に滿たされ、將來の飛躍發展期して待つべきものあるは一點の疑を容るゝ餘地なく、廣大無邊の聖恩に恐懼感激惜く能はざる所である。

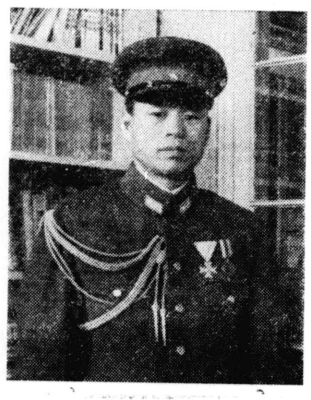
大東亞戰下明朗齡達の年頭に當り、更めて金甌無缺の國體の尊嚴を仰ぎ、謹んで皇國の興隆を祝し、遙かに皇軍の武運長久を祈る次第である。

年頭の辭

陸軍武官　鈴木大佐

皇紀二千六百四年の元旦を迎ふるに當り、先づ以て謹みて聖壽の萬歳と御皇室の彌榮を壽ぎ奉ると共に戰歿將兵の英靈に敬悼の意を表す。

次に大東亞聖戰推移の現狀に關する所感の一端を開陳せんとす。



惟ふに現下の戰局は敵の反攻漸く熾烈を加へるも、御稜威の下忠勇無双の皇軍は殉國必勝の崇高なる信念を以て廣汎なる戰線に亘り、言語に絶する各種困難を克服しつゝ敢闘以て敵に甚大なる打撃を與へつゝあり、開戰後僅か半歳にして獲得せる必勝不敗の戰略態勢は聊かの弛みも生じあらず。一方銃後に於ては國民の戰意愈々牢固にして各般の決戰態勢益々强化せられ、遂戰總力が時日の經過と共に上昇の一途を辿りあることは東條首相其他要路の人の累次聲明せられある所に依り明かなりと云ふべし。

加之、八紘一宇の大精神に基く興亞の聖業は或は對支治外法權撤廢、或はビルマ並に大東亞の戰局に於て明かなる如く、各地戰線も波瀾に富むに非ずやと思惟せらる。

吾人遠く離れて海外に在る雪母國の老弱男女悉くが旺溢せる必勝の信念を以て至誠公に奉じあるの緊張裡に親しく身を置く能はず。又其確乎不拔の戰時態勢に通曉し得ざる爲動もすれば敵側の虚構宣傳に惑はさるゝ虞絶無とせざるが如し。宜しく正確無比なる帝國大本營の報道に全幅の信頼をなし、又局部的戰況に一喜一憂することなく戰爭最後の決意を固めつゝあり。

然れども敵側は本年こそ今次大戰の歸趨を決すべき年なの勝利が斷じて我方に歸すべきことを確心し、悠揚泰然各自の職責持場に應じ業務に精勵し以て殲滅的鐵槌を加へんとして戰々兢々たる所に萬全を期せらるゝことは祖國よりの報道により容易に推察し得る所なり。聖恩の萬一に酬ひ奉ると共に曠古の大經倫に貢獻するの覺悟を新にすべきなりと信ず。

昭和十九年　謹賀新年　一月元旦

稲尾孝樹	稲富孝輔	稲富忠	田村一惠	星清藏	竹谷啓二	勝田長三郎	安東定夫	廣瀬寛治	岡部壯一	飯野榮作
崎間祐司	崎間麗德	田中乙吉	北島覺逸	羽柴哲	守屋保吉	福田淺吉	竹原太郎	小林敬吉	中村芳治	山本喜平
谷力（在亞日本人基督教會）	菊地喜代治	柴田敏行	郡十太郎	關澤仁三郎	羽生兄弟	新庄信三郎	府内喜平	後藤貞彦	門田雄吉	秋葉新一
山岸晋齋	楯岡實	矢嶋幸男	久慈忠	吉田駒三	品田忠重	西坂等（亞國警視廳柔道師範 亞國柔道倶樂部師範）	沖田芳雄	野崎丈二郎	廣田一郎	藤井精四郎
西田嵐 西村善盛	中田幸	石川芳範	杉田俊夫	金澤清	池田喜城	川端嵩	鈴木旦而	増田朗	萩野健兒	久保田富二
宇野悟郎	坂本新吾	喜田正雄	在亞日本人染色洗濯同業組合	大城正雄 平良賢夫	ドクトル佐藤謙（カピルド街二六八八）	國分齒科院（カリヤオ街一二一九（五階））	銀河畔園藝業組合	在亞日本人會	宮本好	廣中仁一 佐伯克太郎
宮本肇	蒲地盛作	比嘉善德							玉城喜慶	歸山德治

年頭の辭

在亞日本人會長　栗林一二

大東亞戰勃發以來二年を等在亞同胞の生活を回顧致遂り茲に皇紀二千六百四年を迎へるに當りまして、第等により多少の動搖はあり一に謹んで聖壽の無窮を祈ましたが、新政府の內外政り奉り、更に皇軍將士に滿腔の感謝を捧げ、且、戰歿々落付を見せ、營業にも私勇士の英靈永へに安らかな生活にも不自由なかりしは らん事を祈る次第でありま誠に御同慶のやりでありま す。又銃後の守を固からしめ大東亞開發に邁進し居る一億同胞の上にも思を走らしめます。赫々たる大戰果は の裡に國威愈々隆昌たるを奉謝するに付け、吾等在外同胞もその責務に精進せねばならぬ覺悟を新にするものであります。

昭和十八年一ケ年間の吾の懸案事項に直面しましたが、前記の如く昭和十七年に比べて一段と落付を得た年であつた事と、幸に公館當局の御懇切なる御指導と役員各位の熱心なる御協力各部委員の御努力、會員諸士の御支援を得て大過なく維持經營を續け、多少積極的施設を實現し得た事は衷心より感謝する次第であります。

特に心强く思ふ點は同胞諸彦の日會に對する理解支援が增進したる現れとして會員數增加し、又會費增徵にも欣然贊同を得て日會の財政苦境を切り拔け得る事しに幸であると感じ同時であります。但し右は現狀に當國政府に感謝の念を禁維持の立前からで勿論以て滿足す可きものではなく、一層向上發展に會員諸士の御協力を願ふ次第でありま渡期にあります時、小生會す。

統制

黑瀨保

戰前列强の確執がいよいよならば、遂に來るべき新しき激しくなるにつれ、各國の政社會に於て落伍者となる運命治と經濟に漸く根强くなつてにあるといつても差支ないで來た「統制」の理論と政策はあらう。そしてかゝる統制さ遂に戰爭となるに及んで好むれたる新社會に於ては從來よと好まざるとに拘らず、益々りも一層個人の犧牲と奉仕とその强化を必然ならしめた。が要求せられ、個人の創意（計「統制」とは結局、政治の畫）とその卓越せる各方面の「合理化」であり、經濟の「合能力（手腕）は高く評價せられ理化」であり、總て人的、物るけれども、個人の慾意と豪的の國力を國家目的に、今日奢は許され得ないであらう。に於ては戰爭の遂行に無駄のない樣卽ち合理的に使用せんとするものであらう。

そしてこの「合理的」なることは又戰爭がなくとも社會の正當な發達の爲に是非とも必要なることであり、社會の改革はその線に沿ふて進みつゝあつたのであるが、今回の戰爭はその進展を一段と早めたものであつた。

× × ×

今これを經濟部面に於て見るに、合理的な統制經濟は當然計畫的でなくてはならず、又計畫的經濟は其主要なる部分に於て、集中的でなくてはれ計畫的なものとなつたのでつゝある道から大分遠ざかつその効果を擧げることが出來なある。戰前約六千軒からあつでゐるかの樣であり、吾人をい。然らば經濟的部面に聯業た貿易業者は昨年初め種々のしてやゝもすれば桃源の怠眠を有する吾人一般は、この社條件の下に先づ一千五百軒程を貪らしめ安い。心すべきで會の趨勢である統制經濟、計に減少せられ、次いで本年にあるゝ思ふ。〔終〕畫經濟に無關心無理解であるなりて三百軒程に減少せられたといふことである。

世運の進展に盲目であり理解がなかつたならば、この合理化の爲に犧牲となつた人々は、いたく自分の不運と不幸とを歎き、或はその不當をなじる者があるかも知れない。勿論爲政者は犧牲者の多く出るとこに斷腸の思ひであらう然し犧牲者は「犧牲」が社會生活に於て最も尊きものであり、之なくして社會の進步はあり得ぬことに思を卒すと共に、社會は又この犧牲者をして犧牲者たらしめざる樣万端の政策を施さなくてはならないであらう。

× ×

統制されたる貿易業者（商人）は物品の合理的な配給者として社會に奉仕する任務を負ふものであり、その限りに於て公的業務に從事するのであるから、官吏と變るところはない筈であり、從つて一定の妥當なる報酬を得て此業務に從事すればよいので、一獲千金、買溜、賣惜、價格の吊上げの爲の物品の燒却、遺棄などといふ神をおそれざる非人間的猶太的行爲はなくなるべきものであらう。然し國土に及んで發展的解消を見、遂廣く人口稀少にして自然の富に惠まれ、戰爭に介入してゐる國家總動員法による「易交ない亞國に於る幸福なる現實營團」となつた。かくて我國の貿易はここに全く合理化さは、未だ此の世界經濟の進み れ、集中的でなくてはみ、ある道から大分遠ざかつるとの効果を擧げることが出來なある。戰前約六千軒からあつでゐるかの樣であり、吾人をい。然らば經濟的部面に聯業た貿易業者は昨年初め種々のしてやゝもすれば桃源の怠眠を有する吾人一般は、この社條件の下に先づ一千五百軒程を貪らしめ安い。心すべきで會の趨勢である統制經濟、計に減少せられ、次いで本年にあるゝ思ふ。〔終〕畫經濟に無關心無理解であるなりて三百軒程に減少せられ

昭和十九年　謹賀新年　一月元旦

石川倉次郎	高市茂 仝　方平	山本實雄	田崎實男	星吉平	鈴木驥一郎
吉川六郎	中村陽三	横尾一	和久虎三	秋吉寅藏	五十風俊二

横濱正金銀行南米駐在員事務所
新井堯男
桑原喜代藏
山內輝彥
須子正元
橋本アンヘラ

南米貿易株式會社
小林磯馬
ラレア街一二八七
電話四二一二三七六

三菱商事株式會社駐在員
栗林一二
アウストリア街二六五六（二階）
電話七二二一八八一

兼松リオプラテンセ
ピエドラス街一一三（二階）
電話三三二八〇六、八〇六三

大田野幹三
丸悌二

黑瀨保
小川勝治
興村禎吉
安達本夫

東亞交通公社
ブエノス・アイレス事務所
清水陸郎
江原武

同盟通信社ブエノス・アイレス支局
津田正夫

安東商會
デフエンサ街五四〇
電話三三二九六

毎日新聞特派員
鈴木三郎

朝日新聞特派員
今井義一

讀賣報知新聞特派員
古田德次郎

英米戰時財政の推移

桑原生

眞珠灣を電擊してから丸貳に一九四二年末までの兩國のる丈けで強制的でないから、年過ぎ、超非常時下三度目の戰時金融財政體制を書いたの愛國心が年々强化しなければ正月を迎へました。茲に、遙で、多少重複するかも判らな實行は增えつこない譯で、通かに皇軍將士の御奮戰を謝しいが御寛恕願ひ度い。貨の流通高が一億五千萬磅も御健鬪を御祈申上げます。激增するに伴つた點より見て

地球の大半を戰場の巷と化し、化學の力の總動員戰である以上、己むを得ない悲しみの幕に閉された局部地域も此の間にはありました。北の熱田島、南のタラワ、マキン兩島の如き、吾々の生涯忘れる事の出來ない悲慘事です。

茲に、謹みて軍神將士の冥福を御祈り申上げます。

思を凡ゆる犧牲と、凡ゆる困苦の下に苦鬪を續けられてゐる一億銃後の國民に致す時同じ身分であり乍ら、當國にゐるが故に直接手助の出來ない無能力者で、誠に慚愧に耐えません　心から御奮鬪御祈り申上げます。

吾々は戰爭が此の先何年、何十年續くとも勝ち拔き、初志貫徹せずんば熄まざる確固不動の信念を有し、是有りしが故に戰を準備し、戰爭を斷行し、是有るが故に身を鴻毛の輕きに置き、是有るが故に殉國の英靈を辱しめず、是有るが故に一億一心各自其職域奉公に邁進し得るのである。

吾等帝國在住邦人にも此の信念あり、各々奉公の道がある筈である。今年も、來る年も來る年も、皇國最終の目標に向つて最善を致しませう。

英米でも、心ある人は戰爭は是からだLong hard Warを覺悟せねばならぬとて人心の倦怠に答打つて居るが、今年の秋までに、或はクリスマスまでに歐洲は片が附くなど言ふ希望的考察による豫想が盛んに流布されてゐる。喰ふか喰はれるか、と言ふ國家の全體的集中的大目的を第二義的とせる個人主義の僞らざる弱音である。

此の纏らないチグハグな心の集合である英米の過去一ケ年の戰時財政はどうであつたか、その動きにより、少しでも國內戰線の動きを探つて見くとも收入が增えれば國庫の增收額は增加するが、公債の僕は昨年、時報社の新年號方は國民の愛國心に訴えてゐたい。

一、英國の卷

武器貸與法による米國よりの純援助は大體拾四億三千萬磅であるが、是は別として、昨年中の戰費は六十億磅（開戰來四年四ケ月間を通算すると武器貸與法關係を別として百八十億磅）で、此の資金をどうして調達したか、稅金二十九億、公債二十五億五千、短期借入五億九千で、國の借金は三十一億增えて年末には百九十億磅となつた。

右の內、稅收に就いて見るに今會計年度に於ける增加は三億磅であるが、之は主として直接稅の稅率は引上げなかつたが、納稅者の增收による所得稅及び超過利得稅の自然增收の爲めで、僅かに奢侈品志貫徹せずんば熄まざる確固嗜好品の消費稅を高率とし、不動の信念を有し、是有りしその代り生活必需品に對する消費稅率を低下した爲め、間接稅收額は前年と殆んど同額となつた。喉から手の出る程直接稅率を釣上げ度くも實行出來ない處に惱みがある。

昨年四月、今は故人となつたキングスレー・ウッド藏相は議會に於て、間接稅が直接稅に比して比較的低率だからや金融業者向の一年以內短期之を平等にする爲めに、且つインフレ防止の爲めに間接稅率を引上げたと苦しい說明をし、一議員から、直接稅を引上げないのは傭主組合や Trade Union と充分相談した結果ぢやないのかと突込まれた程だつた。

次に公債の消化であるが、聽費にしても開戰後最初の並一ケ年間に二十七億、第二年に四十五億、第三年に五十一億、昨年八月に終る第四年に六十億磅と鰻上りに上昇し、それ丈け政府の散布資金が增加して居るのに公債の賣行は昨年と殆んど變らない。

稅金の方は稅率を引上げなかつたから、現在は借替丈けで收入とならぬ）其他時々銀行向の公債を發行して合計六百增收額は增加するが、公債の二十億弗發行した譯である。

右の大口公債發行の外に、毎月の小額公債賣出や、毎週一回發行の大藏省證券の增發（但し之は六月十六日に一回の發行額を十億弗迄引上げ、九月十六日期日となつてから毎月の小額公債は昨年述べた通り飽和點に達したものから其後增額しなくなつたから、現在は借替丈けで收入とならぬ）其他時々銀行向の公債を發行して合計六百增收額は增加するが、公債の二十億弗發行した譯である。

二、米國の卷

昨年一ケ年の戰費約九百億弗で、開戰第一年の約倍額を消費した。この內稅收入を差引いた六百二十億弗が公債發行による借金となり、年末の借金合計一千六百六十三億で百五十億圓となる。

此の公債はどうして發行したか。

一昨年はモルゲンソウも見當が附かなかつたので昨年書いた樣に、色々な方法を試み其の爲め毎月必要額を發行し盛りしたが、昨年は戰費も倍加激增するし、從つて下手をすればインフレ壓念は益々濃厚となるし、そんな事では到底追付かぬので一昨年十二月から年二、三回纏めて發行する事し、公債の內容も銀行や長期投資家用の二十五、六年期限のもの、保險會社向の中期十年位の期限のもの、銀行向の一年以內短期のもの、それに大衆向の十年位の比較的高率物を織り混ぜて、一昨年末迄は農產物補助金制度を唯一の Anti-Inflationary Measure とし、Sales Tax の如き下層階級の實生活を脅かすものなり等囁いて居られまい何時迄もデモクラシイーのイデオロギーに撞着しないで、よい加減に貯蓄や公債の買入を Compulsory としなさいと忠告してやり度いが、それは米國を知らない者の言ふ事で、彼は、今は未だ其時機でない事を承知し、潮流を見極めないで乘つた場合の結果を慮れてゐるのであらう。

（完）

……◇……

のに、銀行が公債を買へば Inflationary であり、一般大衆が買へば Antiinflationary である事はモルゲンソウの心配する通りであるが、然らば同氏の思つた程大衆が買つたか。

此の內、大統領や藏相を始めラガディア紐育市長、デューイー紐育州知事を始めハリウッドのスター迄引張り出して何十萬人と言ふヴウルンタリオを動員して每回賣出宣傳に大童になり、ル大統領の如き、ラヂオを通じ、世界中が結果如何んと注視してゐるのだから皆さんどうか奮發して買つて下さいと迄全國に頭を下げて賴込んだ結果が、二百十五億で國民の自由意志に任したのではインフレ抑壓は覺束無い。

殊に炭坑夫のストライキをきつ掛けに今度は鐵道從業員の賃銀値上げ要求となり、之をウンと言はなければ戰時產業機構が停止するし、ウンと言へば（恐らく言はざるを得ないだらうが）（十二月廿四日記）更に製鐵其他重工業從業員に波及する事は火を見るより明かで、是からは賃銀値上のストライキが米國舞台に蜜の巢を突いた樣に登場する事でせう。其の結果はインフレとの盟廻しとなり、此懸念が個人主義の徹底せる國民の前に Close Up されれば、公債よりは假令閣でも物の方がアトラクテイヴとなり、大衆が自己擁護と彼等に不徹底なる國家防衛とを秤に掛けないと、誰が保證出來やう。

ル大統領も次期選擧を控へ國民の機嫌も採らねばならず戰爭もせねばならぬが、何時迄も農產物補助金制度を唯一の Anti-Inflationary Measure とし、Sales Tax の如き下層階級の實生活を脅かすものなり等囁いて居られまい何時迄もデモクラシイーのイデオロギーに撞着しないで、よい加減に貯蓄や公債の買入を Compulsory としなさいと忠告してやり度いが、それは米國を知らない者の言ふ事で、彼は、今は未だ其時機でない事を承知し、潮流を見極めないで乘つた場合の結果を慮れてゐるのであらう。

（完）

謹賀新年

昭和十九年一月元旦

須賀川太郎
高桑譲
近藤知次
芦谷幸一
鴨秀雄
佐々木國綱
小川卯三郎

河合金吾

片山良平

島本重一

大嶽稔

大阪商船株式會社
アベニーダ・ロケ・サエンス・ペーニア通九九五（七階）
電話 三五＝一九〇一　三五＝〇四四一

瀧波文夫
ビクトリア街二七〇二
電話 四五＝八一八〇

原商店
ベルグラーノ街一七四〇
電話 三八＝二四六、九四三七

竹内雄一
田邊健造
池田信雄
高橋薫

石井商會
ボリーバル街二三八
電話 三三＝九七八二

大村商會
サン・マルティン街二三五
電話 三一＝二六八三

村井商會
ガライ街一二六四
電話 二六＝二四二一

村松卓己

勝田商會
メヒコ街一四七四
電話 三八＝二三一三

岩井亞國有限會社
二五・デ・マヨ街一四五
電話 三四＝二二八六

三興株式會社
サン・マルティン街六六
電話 三四＝五一五八

淺野物產株式會社
宮川敏雄

北米の第二世

鈴木三郎

一九四三年十月十六日發行「心がけて欲しい。皆さんの御の北米大衆雜誌コリアにルーズヴェルト大統領夫人が『米國のスポーツマンシップに訴へる』と題して、日本人第二世問題について一言してゐる云ふ所には何等新味がなく、小說「大地」の作者パールバック女史その他の識者が夙に唱導してゐる點、即ち人種的差別待遇の廢棄を再主張してゐるに過ぎないのだが、その要點をかいつまんで見ると左のやうなことになる。――

近所にかゝる日本人的北米人の家族が移住して來た時には彼等を沢して敵視せず、蔑視せずに、隣人として取扱つて欲しい。何故なら皆さんの社會にあつて彼等が皆さんと歩調を合せてやつて行けることを立派に立證する機會が彼等に與へられたからなのである。皆さんスポーツマンシップを發揮して下さい。「日本人は要するに日本人だ」とは誰でも云ふことだ。特に西部地方では排日の歴史もあつたのでかゝる考方が西部全體を支配して來てた樣だが、かゝる考方では在米日本人問題は少しも解決が出來ない。日本人的北米人は少しも日本人ではない――ドイツ的北米人がドイツ人でない如く、又イタリー的北米人がイタリー人でない如くに。これら北米生れの外國系北米人は、デモクラシ的生活を擁護する爲めに、アメリカ建國の理想の爲めに北米の爲めに今日戰ひつゝある人々なのである。北米には同一民族はないが、これら北米民が一つとなつて忠實に守つてゐる理想がある。この理想と共に生き、この理想と共に再元した厄介な存在である。

「在米日本人を大別すると第一世、第二世、歸米二世と三種になるが、第一世は百パーセントの日本人で既に老境に達し、その精力も衰へる一方の消極的存在である。第二世は北米に生れたアメリカイズされた日本人で、生熟即にあり將來の活躍も大いに期待されるが、外見が日本人だから、第一世との區別がつかず北米人が混同してしまふ惧がある存在である（こゝに北米の社會的大問題が潜在する）歸米日本人は北米に生れて北米の市民權を有しながらその幼年期に或は長じてから渡日して日本式教育を受けた爲め再渡米しても日本人に再元した厄介な存在である。

（歸米二世の大部分は日本人に再元した）この三種類の日本人を區別せずに、日米開戰等を蔑視したならば、アメリカの進歩發達は期されない。後に一緒にして、各地の收容所に入れたものだから、絶えずこれまで、いざこざが惹起された。併し最近ではこの區別に基づいて再收容を行つたので段々收容所の空氣も平穩になつて來た。そこで姿は米國人のスポーツマンシップに訴へたいと云ふのは北米生れの米國市民權を持つた若い日本人第二世の取扱ひについてある。彼等は米國に忠誠を誓つてゐる。米國に忠實な國民であるから、北米人は彼等を公平に遇して欲しい。外見は日本人だが精神は北米人なのである。今後かゝるジャパニース・アメリカン（日本人的北米人）は收容所から出してその生活を保障し、米國の社會に生活して行けるやうにしてやつて行けることを掌を翻すやうに少數民族の唱導してゐる樣に、日米戰爭によつて、現實的に解消されてしまつたのである。日本人はアメリカ人――外貌、皮膚の色如何は問はぬ――と云やうに一應ハツキリして來たのである。戰場にあつては日本人は飽くまでアメリカ人を敵として戰ふのである。その間にセンチメタルな感情の介在を許さない。

第二世であらうがなからうが、双方ふ者は容赦はせぬ。戰後と雖も、最早や日米間には在アメリカ日本人問題は再び起らぬと斷じてもいゝ程に嚴肅な戰爭と云ふ現實はこれを原則的に解消してしまつたのである。

×

だが、ルーズヴェルト夫人の人道的（？）言說に對して今更ら對支移民法の改正をやつても、誰がこれを以つてアメリカの人種政策の百八十度的廻轉であると信ずるものがてる事を許さなかつた。妹も兩親の御蔭げで大學を卒へる事が出來た。日本人兩親の子供に對する多年に亘る無限の利己犧牲の偉大さはアメリカ的理念、感情を以つてしては了解出來ぬ事だ。單に私の兩親ばかりではない。かゝる兩親は幾多の日本人家族の中に見出されるのである。概論的だが日本人は教育を重視する何故にかほど強い利己犧牲と親の愛が、日本人には存するのか。――これ程までに子供を愛する兩親に對して、私は言語の關係から殘念乍ら意志が通じないのだ。同じ屋根の下に長年住ひ、その恩愛の下に育くまれながら、デリケートな話が親子の間で出來ないのだ。何たる悲劇であらう。私はたゞ兩親が廣島縣の出身であることを知り、ハワイを經由して加州に來た事を知る

（以下十三頁へ續く）

老ひたる父ノリユキ及びその妻は日本に歸つた。息子のヤス、サブロー及びレオは北米を愛するが故にアメリカの市民なるが故に北米に殘つた。親子訣別の記念の寫眞がこれである。ヤスは御覽の通り米國陸軍々人であり軍曹の服裝をつけてゐる」私は涙なくしてはこの寫眞を見ることが出來なかつた。多年日米の間に不愉快な、苦痛な存在であつた在アメリカ日本人問題はこの寫眞及び說明が單的に示してゐる樣に、日米戰爭によつて、現實的に解消されてしまつたのである。日本人は日本人、アメリカ人はアメリカ人だ。彈壓政策が、危くその全狀だ。自由平等を謳稱しながら有色人種に對してはあらゆる恥辱を加え不公平に取扱ひながら、國家の一大事に當面すると、以前の所業のたゝりが恐くなつて、尤もらしいことをぬかすのだから大統領夫人の言葉でもおいそれとその通り信ずる譯には行かぬ。人リミツなる者が同誌に一書を寄せてゐる。左に大要を紹介しやう。

「私の父母は私を一人前にする爲めに、あらゆる犧牲を拂つて呉れた。貧困と戰ひながら、大學まで卒業させて呉れた。餘りに兩親の犧牲が多いので、私は學業を捨てゝ、一家を助けんとしたが、その時私の母は怒つて「子供の知つた事ではない」と學業を捨てる事を許さなかつた。妹も兩親の御蔭げで大學を卒へる事が出來た。日本人兩親の子供に對する多年に亘る無限の利己犧牲の偉大さはアメリカ的理念、感情を以つてしては了解出來ぬ事だ。單に私の兩親ばかりではない。かゝる兩親は幾多の日本人家族の中に見出されるのである。概論的だが日本人は教育を重視する何故にかほど強い利己犧牲と親の愛が、日本人には存するのか。――これ程までに子供を愛する兩親に對して、私は言語の關係から殘念乍ら意志が通じないのだ。同じ屋根の下に長年住ひ、その恩愛の下に育くまれながら、デリケートな話が親子の間で出來ないのだ。何たる悲劇であらう。私はたゞ兩親が廣島縣の出身であることを知り、ハワイを經由して加州に來た事を知る

筆が岐路に入つたから第二世の事に再び戻さう。バールバック女史が寄書家の一人になつてゐるエシア誌（一九四三年十月號）を見ると米國加州サクラメント生れの日本人第二世、砲軍伍長ジョージ・モモトが同誌に一書を寄せてゐる。左に大要を紹介しやう。

×

アメリカがハワイ生れの日本人第二世の大群をアメリカ本土に送つて、所謂「外人部隊」を組織して之を黑人部隊に育くまれながら、シシリアの戰線に投ずる事は周知の事實だ。日本人名の中尉の勇戰、喝破してゐたが、利己主義的感情的な米國人はかゝる痛棒の物語がニューヨーク・タイムス紙などの特電となつて紙面を賑はしてゐるのを私は屢々讀むが、自國の戰爭においては何等反應を示さなかつた。然るに今や、勞働力が足りぬ、兵力が足りぬとなると、人道に事よせて「アメリカの第一歸人」たる大統領夫人がアメリカ人のスポーツマンシップに訴えるのであるにせよ――所にアメリカの國利己一點張りのヤンキー主義の心底が見えすくではないか。無論これは政治的缺陷でもあり社會的缺陷でもある。勢旺んなる時は、これ待遇を與えて平等待遇を與へで當面の難局は切ぬけ得られず自ら少數民族問題發生の禍るにしても、いざ鎌倉と云ふドタン場になつたら必ずやこれでは濟むまい。アメリカに於る少數民族問題は、今後に幾多の爆彈を深く藏してゐる丈をこゝに斷言するに止めやう。無論これは戰局の變化と不可分の關係にある事もついでながら附加しておく。

×

アメリカ人がアメリカ化したアメリカの國防的一大陷落があるのではあるまいか。無論これは政治的缺陷でもあり社會的缺陷でもある。勢旺んなる時は、これ待遇を與えて平等待遇を與へで當面の難局は切ぬけ得られるにしても、いざ鎌倉と云ふドタン場になつたら必ずやこれでは濟むまい。アメリカに於る少數民族問題は、今後に幾多の爆彈を深く藏してゐる丈をこゝに斷言するに止めやう。無論これは戰局の變化と不可分の關係にある事もついでながら附加しておく。

謹賀新年
昭和十九年一月元旦

山田商會
モレーノ街二〇三七
電話四八―四〇九四

辻商店
チーレ街二九九
電話三三―五七四四

服部定雄
インデペンデンシア街二六五〇
電話四五―三二一八

下里己之助

本多次郎商會
モレーノ街一三二〇
電話三八―二七一八

カサ『ヤマナカ』
加藤商會
ピアモンテ街六二四
電話三一―七八四六

ラ・メーゾン『サツマ』
横濱建吉
ユスメラルダ街一〇八〇
電話三一―八六〇一

山元兄弟商會
アベジヤネーダ市
カビルド街六〇七
電話二〇―八二四四

戰爭と純鐵

鋼滿洲男

鐵鋼業の消長は世界各國產銑碗兵器用の高級合金鋼である。「優良な合金を作るには純業の大勢を窺ひ知る尺度であり、製鐵業の發展には鐵鑛石及び石炭資源の豐富を絕對條件とする。疑もなく此の兩者合同の力は世界產業機構の樞軸を形成するからである。

今次の世界大戰の特徵は現代產業の精根を盡した科學力の鬪爭であり、就中兵器、彈藥の生產力即ち鐵鋼の生產力なるものが、今後に於ける民族の發展と敗退を別つ重要な鍵であることを敎へつゝある。

× × ×

日本の持つ鐵鑛資源は極めて貧弱であつて大なる工業價値のあるのは釜石一個所と謂はれた位であるから、此等資源を近接國に求めるのは我が日本鐵鋼工業の將來を安泰に置く自然の要求であり、日本の發展が滿洲から支那へ、支那から馬來、蘭印、比律賓に向けられたのは、一國の生存を保證すべき原料資源の確保と工業製品の交易に俱ふ當然の趨勢であつた。

然るに已れの工業的領土に對する野望を遂げんために、日本の正しい主張を却け、其發展を阻み、生か死の危地に陷れんとした英米に對しては齒に齒を以てし、眼に報ゆるに眼を以てせねばならない。

× × ×

戰爭の遂行には堅牢にして優秀なる兵器を必要とし、これが製造材料として高級の特殊鋼を用意せねばならない。建艦計畫の樹立、新銳兵器の出現には防楯鋼、彈丸鋼の如き非常に硬く高溫に耐へ且脆くない鋼質を絕對前提とするこれには熔鑛爐で熔かし平爐で處理して得た丈の普通鋼では不充分である。特別に精選した原料から製造した低燐銑が世界有數なる低りん良鐵鑛か、又は電氣爐其他特殊操作に依つて出來た所謂純鐵か海綿鐵が不可缺となつて來る碎いて言へば鋼に有害な燐及び硫黃分の極めて少ない、そして鐵純分の出來る丈け高い特殊銑鐵又は金屬鐵である。是れに其用途に應じてニツケル、タングステン、モリブデン、バナジウム、コバルトの如き炭素以外の元素を加へて電氣爐で熔融せしめたものが次に人の和である。所謂「滿鐵魂」が日本の生命線である滿洲を凡ゆる艱苦から護つた樣に「本溪湖精神」が二萬に及ぶ社員と工人を勵かし善く第一次世界大戰後の不況に堪へ、更に舊東三省張政權の露骨な排日迫害に敢然と抗し乍ら斯る特殊銑鐵の完成に次ぐに海綿鐵製作の成功を遂げさせたのである。

× × ×

世界に稀な骸炭吹低りん銑は其試驗の結果、瑞典木炭銑の域を遙に凌ぎ含有燐分〇・〇〇六％、硫黃分〇・〇〇六％と謂ふ最良品を出して居る。木炭を使つて吹くなら兎も角如何に低燐と言へ骸炭を使つての製造は石炭に含まれた燐や硫黃が其儘鐵に入つて來てこれを除くのは仲々難しい。斯る困難を克服しただけでなく更に貧鑛をも磁力選鑛に依つて燒結團鑛として使つて居る點も注目に値する。

因みに何故燐や硫黃が鋼に嫌はれるかと言ふのは、是等不純分が多過ぎると高溫は勿論常溫でも鋼質が脆くなるからであつて普通に使はれる鋼には燐〇・〇六％、硫黃〇・〇五％見當が最高である。

本溪湖の功績はこれのみに止まらぬ。それは海綿鐵の製造である。之れは鐵鑛石を鋼の融解溫度（約一・五〇〇度）より低い溫度で還元して作るものであつて、極めて純度の高い鐵が得られる。その外形は元の鑛石の儘であるが、唯鐵分に化合してゐた酸素が還元作用で脫けるからその跡に穴が生じ恰も海綿の樣になるのでこの名がある。此の海綿鐵製造は所謂直接製鋼法と呼ばれる一つだが、世界の冶金學者が競ふて研究中であり、實驗室に成功しても工業化せられたものは瑞典を除いた外は極めて少ない。

× × ×

大東亞聖戰は既に第二年目に入つた。敵は南太平洋に於て三十萬の將士と、莫大の艦船兵器を失ひ乍ら、未だに其の非を悟らず戰の前途は甚だ遼遠である。

斯る前古未曾有の大量的兵器消耗戰を前提とする大東亞之に配すべき地の利は、加共榮圈の堅陣構築は一に本溪湖の双肩に掛つてゐると稱するも過言であるまい。

我々が想像する以上に寒さの嚴しい滿洲にあつて、日に夜を繼いで鐵と石炭の大增產に獻身的奮鬪を續ける本溪湖の功績は實に偉大である。

謹賀新年

昭和十九年一月元旦

酒井和一
仝　なみ
宗像國三郎
丹野國雄
ラフアエラ市

伏見兄弟
コルドバ市

カフエ『ハポネス』
水流武
福永彌吉
コルドバ市

珈琲店『東京』
仲兼久前和
仲兼久前勇
比嘉爲輝
サルタ市

染色店「ローサ」
新垣篤榮
ロサリオ市

CAFÉ Y BAR
"NIPPON"
DE
Carlos Okumura
AV. GENERAL PAZ 2868

染色店「チツク・ハポネス」
宮平助正
ロサリオ市

山田朝功
川島泉
有木彦十郎
佐藤嘉佐治
島田要
佐藤喜作
當間加那
橋口鐵太郎
得永末吉
伊藤金五郎
久保田秋義
小港甚藏
吉原繁雄
翁永武吉
翁永武幸
親川三郎
竹迫三次郎
比嘉民秀
佐藤四郎
根本政四郎
遊佐周藏
山形淺吉
上野增太郎
翁長武賞
松山始
石井勝治
大城定信

昭和十九年　謹賀新年　一月元旦

コンフイテリア「アギラ」
カフエ「ハポネス」
仝　『東京』
石原正一
サンテイアゴ・デル・エステーロ市

カフエ「ハポネス」
内野喜吉
ツクマン市

珈琲店『日本』
内野武兵衛
サルタ市

染色店『ニッポン』
小牧齊藏
同　成雄
ツクマン市

カフエ「ハポン」
前橋藤吉
サルタ市

バー「ニツポネス」
比嘉民和
サルタ市

山口喜代志
同　範一
同　實之助
同　六郎
ポサーダス市

カフエ「ハポネス」
藤田友八
チビルコイ市

カフエ「ハポン」
上原清正
コルドバ市

珈琲店「ツリブナーレス」
石堂謝花　共營
コリエンテス市

染色店「ハポネス」
大城守一
コルドバ市

染色店「東京」
與那原繁
外店員一同
コルドバ市

染色店「ハポネサ」
志伊良正蒲
サンテイアゴ・デル・エステロ市

カフエ「日本」
儀間康英
ツクマン市
二四・デ・セテイエンブレ街四六八

染色店「ロス・イ・コローレス」
三島定志
サンテイアゴ・デル・エステロ市

染色店「神戸」
照屋龜助
コルドバ市

バー「ハポネース」
福田靜次
コロネル・スアレス市

上村清市

米須精一
比嘉善雄

漢那安康
仝　安盛

新垣榮輝
仝　良盛

高橋美知義

石本久治

海戰史上類例なき帝國海軍の大戰果

ブーゲンビール島方面戰果

帝國海軍は南太平洋海域において引續き敵米英に對し甚大なる損害を與へつゝあるが、敵がソロモン群島モノ島に上陸した去る十月廿七日以降、マーシャル諸島沖航空戰の行はれた十二月五日までの連續的戰鬪において敵側は艦船百十九隻、飛行機七百二十七機及び兵員四萬以上を喪失してゐる。左記の戰果一覽表は當時の大本營發表或は南太平洋前線基地よりの報道に基くものであり、敵側の人的損害並に艦船損害價額は當時井口情報官發表の算定に基くものである。（昭和十八年十二月十三日帝國大使館發表に據る）

――寫眞は聯合艦隊司令長官古賀峰一大將――

戰鬪海戰	第一次航空戰	第二次航空戰	第三次航空戰	第四次航空戰	第五次航空戰	第六次航空戰	其他戰鬪	計
日附	十月一日	同五日	同八日	同十一日	同十三日	同十七日	十二月三日	自十月三日至十二月三日
▲敵側損害（●印は撃沈、○印は撃破の略）								
戰艦○●								四
航空母艦○●		二		一				一
戰艦又は巡洋艦○●					一			二
巡洋艦○●	三	二	二					二
巡洋艦又は驅逐艦○●	二	一	六	三				一
驅逐艦○●			二	四	一			一
輸送船○●				一				一
艦種未詳○●								
合計○●	六	四	一一六	一一八	二	一	一	三
敵機撃墜								
▲我方損害								
巡洋艦○●								
驅逐艦○●								
飛行機自爆未歸還			一五	二				二
	三	一〇	三〇	二	一	一	一	一
	五	一〇	一五	八五	三八	四九	八七	三三
	一	一	一	一				一
	一	一	一	一				一
	一	一	一	一				一

敵艦船撃沈破總數並に人員損害

	ブーゲンビル島方面	ギルバート諸島方面	マーシャル諸島方面	合計	一隻平均人員損害	人員損害合計	艦船一隻の價額（單位百萬弗）	艦船損害價額合計
戰艦○●	四		四	八	二〇〇〇	三二〇〇〇	六〇	二四〇
航空母艦○●	三八	七	一一	一一八	一一八〇〇	一八八八〇〇	二六	四一六
戰艦又は巡洋艦○●	一	二	一	一一六	一一五〇〇	一一二〇〇	三七・五	三七・五
巡洋艦○●	一六	二三	一一	二二〇	一五〇〇	六〇〇〇	一二・五	二五〇
巡洋艦又は驅逐艦○●	七	一		八	八	一〇〇〇〇	八	六四
驅逐艦○●	九			九	四	二〇〇〇	六	五四
輸送船○●	一一五	二	一一七	二	一一	一八〇〇	六	六六
艦種未詳○●		一		二	二	四〇九八〇	一一	一一四七・五
合計○●	五七三六	一一〇	二二四八	七一九	一一〇	一一〇	一〇	二〇
總計	九三	二二	四	一一九				

〔註●印は撃沈、○印は撃破〕

ギルバート諸島方面戰果

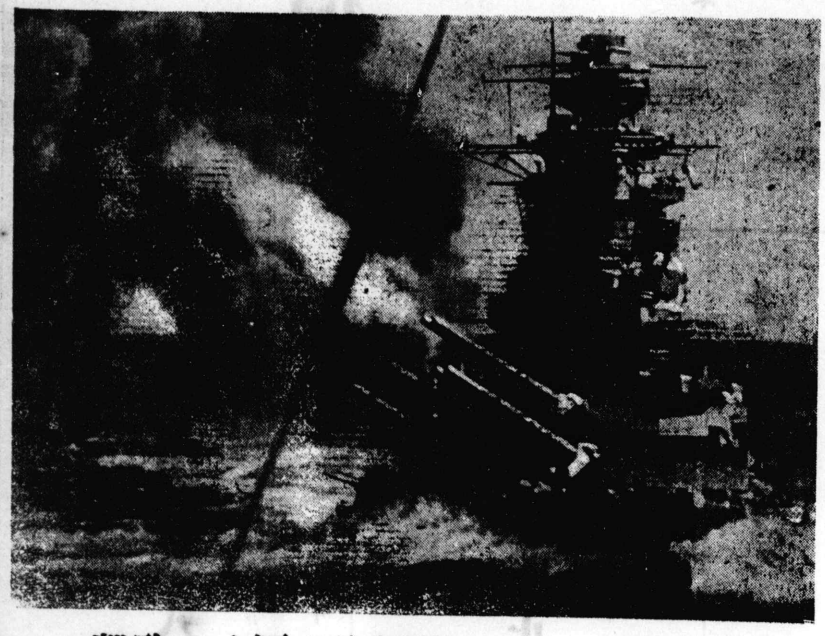
戰鬪	第一次航空戰	潛水艦戰果	第二次航空戰	第三次航空戰	その他航空戰	第四次航空戰	計
日附	十二月三日	同廿五日	同廿六日	同廿七日	同廿八日	同廿九日	
▲敵側損害（●印は撃沈、○印は撃破の略）							
航空母艦○●	一						一
戰艦又は巡洋艦○●	三	一	二	一			七
巡洋艦○●				二			二
巡洋艦又は驅逐艦○●							二
輸送船○●	一						一
艦種未詳○●							
合計○●	二五		一	四			一
敵機撃墜	一二五						一二五
▲我方損害							
飛行機自爆未歸還	一五		一	五			二七

十二月五日のマーシャル諸島沖航空戰々果

	撃沈	撃破	計
▲敵側損害			
航空母艦	一	一	二
巡洋艦	一	一	二
合計	二	二	四
敵機撃墜			二〇
▲我方損害			
飛行機自爆未歸還			六

敵必殺の我雷撃機

わが海鷲の精鋭は十二月三日夕刻ブーゲンヴイル島南方海面において敵有力機動部隊に猛攻を加へ空母三隻大型巡洋艦二隻其他を轟沈破する大戰果を擧げたが、この日敵艦隊はわが雷撃機の來襲に遭つた當時空母の艦戰機が日没とゝもにすでに格納されてゐたゝめ戰鬪機の掩護全々なく唯々艦上對空砲火を以つて防戰に努めたのみであつた、しかしながら敵の對空砲火は累次の航空戰におけると同樣わが必殺の雷撃の前には全く効を奏せず空母二隻は見る〳〵うちに轟沈、他の空母一隻も大型巡洋艦其他とゝもに間もなく南太平洋の波間に呑まれて行つた、斯くてわが海鷲の勇士は敵戰艦一隻が全艦火焔に包まれ炎上しつゝある狀を見屆け歸還の途についたのである、而して今回敵が又も有又機動部隊を以つてブーゲンヴイル島南方に出撃し出つた理由は判然としないがおそらく同島上陸軍を掩護するためその北部及びブカ島のわが航空基地を攻撃せんと企圖したか或はブーゲンヴイル島南部ブインのわが基地に對し爆撃を試みんとしたかである、わが航空部隊は現在までブーゲンヴイル島及びギルバート諸島周邊海域に於て前後十回の航空戰を行つたがその間に收めた大戰果は全くわが雷撃機が放射する魚雷の驚異的爆發力に負ふものでありその威力は遂日增大しつゝある即ち開戰直後英戰艦プリンス・オブ・ウエールス號は馬來沖においてわが雷撃機より魚雷二十二本を打込まれ悲慘な最後を遂げたが、第二次ブーゲンヴイル島沖航空戰においては最新鋭の米戰艦四隻のうち一隻は僅か四本の魚雷を蒙つたのみで撃沈されたのである、また第一次ブーゲンヴイル島沖航空戰においてはわが雷撃機十四機は敵の大型空母一隻中型空母一隻巡洋艦四隻を葬り我方は僅か魚雷十四本を以つて敵艦合計六隻を南太平洋の海中深く撃沈したのであつた、斯くの如くわが海軍航空部隊は今日まで驚異的大戰果を收めたがわが科學陣の世界に誇る性能優秀な雷撃機並に比類なき技術と敢鬪精神とを有するわが海鷲男士の活躍は今後も着々太平洋戰爭を完勝に導くべきは必定である



威容嚴たり・轟然四海を壓する砲撃

謹賀新年

ホテル『サン・マルテイン』
比嘉榮一
ミシオネス州
オベラ町

洗色店『ラ・イヒエニカ』
本出嘉太郎
ペルガミーノ市

カフエ『東京』
佐藤和右衛門
ペルガミーノ市

洗色店『日本』
池原嘉誠
フフイ市

東印度諸島の民族
大別した丈で十數種族

舊蘭領印度諸島の面積は百九十萬餘方粁、人口六千七十三萬餘、毎年の輸出超過三億九百十二萬餘、全く寶庫といつてよい。

こゝに在留する土人の總數は五千九百十四萬弱、大體においてインドネシア人である。

舊蘭領印度土人の數は一九三〇年統計によると五千九百十三萬八千人と計上されてゐる。これが種別を細別することは容易でない。今日は諸外國の文化や風俗を取入れその生活狀態は著しく變化してゐるが、ニューギニヤ及びボルネオの奥地へ行つて見ると、まだ太古そのまゝの原始風俗を見ることができるといはれる。これを大別すると、ジャワ島にはスンダ族、ジャワ族、マドラ族等がをり、スマトラ島にはアチエ、バタック、ミナンガバウ、バスマの諸族、セレベス嶋にはマカツサル、ブギス、トラヂヤー、ミナハサの諸族、ボルネオ嶋にはカヤン、ケニヤ等に屬するダイヤツク族、ニューギニヤにはパプアー、カヤカヤの諸嶋族、モロッカス群嶋にはアルフルアンボンの諸族、チモール等にはアントニー、スラニの諸族がをり、これらを細別すると數十種族に上り、方言もまた百餘に上る。

スンダ族＝ジャワ嶋の中央に住み、ジャワ人と接觸してゐるので、開けてゐる。大家族主義を取り、一屋よく十數家族が集合してゐる例があり、村落の中央邊には未婚者のみのドーミトリーがあることはフイリツピンのボントック人の土俗に酷似してゐる。夫は家長で絶對の主權者であり、妻は何の所有權をも持たないで、奴隷の如く絶對服從しなければならない。宗教は回教を信じてゐるが、このほかに上中下段三神の存在を信じ、かつ貴族、平民、奴隷の三階級がある。家の形はミナンガバウ族やスンバ嶋土人の家のやうな兩端が著しく尖つた形の屋根を持つてゐる。トバ湖畔や、西岸のバダンに近い所に住んでゐるものは乘馬に巧みである。フイリツピンのバラワン嶋にも同じ名のバタックといふ矮人があるが、これはスマトラのバタックとは全然異つた人種である。

ミナンガバウ族＝スマトラ嶋西岸地方に住む本族はマレー族の始祖だといふ說があるマダガスカル、ケープタウン人等と同樣、牛を崇拜する一族であつて、家の屋根の兩端が左右に弓のやうに著しく反り上つてゐるのは、牛の角に擬したものであるといつてゐる。他の土人と異り女系制度を取り、結婚しても夫婦別居し、財産も別々で、男女關係は極めて嚴格で、女子婚期に達すれば決して單身外出するやうなことはない。風俗はバタック族とやや似てゐるが、金銀の細工が巧みである。マカツサル市でブローチその他精巧なる金モール細工でカンタベリー細工といふものがあるが、これは概ね本族の製作になるものである。その數約百九十九萬人。

バスマ族＝スマトラ嶋の東南の河上に住んでをり、その祖先はヂワといふ太陽神である。マレー族としては稀な紅顏の美容を有し、スンダ及バリ族とゝもに、東印度諸族中の三璧である。家々殺人がは母系を制度とし、夫は妻に服從しなければならない。性勤勉にして貯蓄心がある。祖先を祀る念敎く、死者にはレモン水を打撒いて體を淨め、齒を磨き鼻を洗ひ、白布で卷いて綱で縛り村外の叢林の中に葬る。その數凡そ百萬人。

（以下次頁へ）

舊蘭領印度土人の數は一九三〇年統計によると五千九百十三萬八千人と計上されてゐる。これが種別を細別することは容易でない。今日は諸外國の文化や風俗を取入れその生活狀態は著しく變化してゐるが、ニューギニヤ及びボルネオの奥地へ行つて見ると、まだ太古そのまゝの原始風俗を見ることができるといはれる。これを大別すると、ジャワ族、ジャワ島にはスンダ族、ジャワ族、マドラ族等がをり、スマトラ島にはアチエ、バタック、ミナンガバウ、バスマの諸族、セレベス嶋にはマカツサル、ブギス、トラヂヤー、ミナハサの諸族、ボルネオ嶋にはカヤン、ケニヤ等に屬するダイヤツク族、ニューギニヤにはパプアー、カヤカヤの諸嶋族、モロッカス群嶋にはアルフルアンボンの諸族、チモール等にはアントニー、スラニの諸族がをり、これらを細別すると數十種族に上り、方言もまた百餘に上る。

スンダ族＝ジャワ嶋の中央に住み、ジャワ人と接觸してゐるので、開けてゐる。大家族主義を取り、一屋よく十數家族が集合してゐる例があり、村落の中央邊には未婚者のみのドーミトリーがあることはフイリツピンのボントック人の土俗に酷似してゐる。夫は家長で絶對の主權者であり、妻は何の所有權をも持たないで、奴隷の如く絶對服從しなければならない。宗教は回教を信じてゐるが、このほかに上中下段三神の存在を信じ、かつ貴族、平民、奴隷の三階級がある。家の形はミナンガバウ族やスンバ嶋土人の家のやうな兩端が著しく尖つた形の屋根を持つてゐる。トバ湖畔や、西岸のバダンに近い所に住んでゐるものは乘馬に巧みである。フイリツピンのバラワン嶋にも同じ名のバタックといふ矮人があるが、これはスマトラのバタックとは全然異つた人種である。

ミナンガバウ族＝スマトラ嶋西岸地方に住む本族はマレー族の始祖だといふ說があるマダガスカル、ケープタウン人等と同樣、牛を崇拜する一族であつて、家の屋根の兩端が左右に弓のやうに著しく反り上つてゐるのは、牛の角に擬したものであるといつてゐる。他の土人と異り女系制度を取り、結婚しても夫婦別居し、財産も別々で、男女關係は極めて嚴格で、女子婚期に達すれば決して單身外出するやうなことはない。風俗はバタック族とやや似てゐるが、金銀の細工が巧みである。マカツサル市でブローチその他精巧なる金モール細工でカンタベリー細工といふものがあるが、これは概ね本族の製作になるものである。その數約百九十九萬人。

バスマ族＝スマトラ嶋の東南の河上に住んでをり、その祖先はヂワといふ太陽神である。マレー族としては稀な紅顏の美容を有し、スンダ及バリ族とゝもに、東印度諸族中の三璧である。家々殺人がは母系を制度とし、夫は妻に服從しなければならない。性勤勉にして貯蓄心がある。祖先を祀る念敎く、死者にはレモン水を打撒いて體を淨め、齒を磨き鼻を洗ひ、白布で卷いて綱で縛り村外の叢林の中に葬る。その數凡そ百萬人。

（以下次頁へ）

舊蘭領印度諸島の面積は百九十萬餘方粁、人口六千七十三萬餘、毎年の輸出超過三億九百十二萬餘、全く寶庫といつてよい。

こゝに在留する土人の總數は五千九百十四萬弱、大體においてインドネシア人である。

舊蘭領印度土人の數は一九三〇年統計によると五千九百十三萬八千人と計上されてゐる。これが種別を細別することは容易でない。今日は諸外國の文化や風俗を取入れその生活狀態は著しく變化してゐるが、ニューギニヤ及びボルネオの奥地へ行つて見ると、まだ太古そのまゝの原始風俗を見ることができるといはれる。これを大別すると、ジャワ族、ジャワ島にはスンダ族、ジャワ族、マドラ族等がをり、スマトラ島にはアチエ、バタック、ミナンガバウ、バスマの諸族、セレベス嶋にはマカツサル、ブギス、トラヂヤー、ミナハサの諸族、ボルネオ嶋にはカヤン、ケニヤ等に屬するダイヤツク族、ニューギニヤにはパプアー、カヤカヤの諸嶋族、モロッカス群嶋にはアルフルアンボンの諸族、チモール等にはアントニー、スラニの諸族がをり、これらを細別すると數十種族に上り、方言もまた百餘に上る。

スンダ族＝ジャワ嶋の中央に住み、ジャワ人と接觸してゐるので、開けてゐる。大家族主義を取り、一屋よく十數家族が集合してゐる例があり、村落の中央邊には未婚者のみのドーミトリーがあることはフイリツピンのボントック人の土俗に酷似してゐる。夫は家長で絶對の主權者であり、妻は何の所有權をも持たないで、奴隷の如く絶對服從しなければならない。宗教は回教を信じてゐるが、このほかに上中下段三神の存在を信じ、かつ貴族、平民、奴隷の三階級がある。家の形はミナンガバウ族やスンバ嶋土人の家のやうな兩端が著しく尖つた形の屋根を持つてゐる。トバ湖畔や、西岸のバダンに近い所に住んでゐるものは乘馬に巧みである。フイリツピンのバラワン嶋にも同じ名のバタックといふ矮人があるが、これはスマトラのバタックとは全然異つた人種である。

ミナンガバウ族＝スマトラ嶋西岸地方に住む本族はマレー族の始祖だといふ說があるマダガスカル、ケープタウン人等と同樣、牛を崇拜する一族であつて、家の屋根の兩端が左右に弓のやうに著しく反り上つてゐるのは、牛の角に擬したものであるといつてゐる。他の土人と異り女系制度を取り、結婚しても夫婦別居し、財産も別々で、男女關係は極めて嚴格で、女子婚期に達すれば決して單身外出するやうなことはない。風俗はバタック族とやや似てゐるが、金銀の細工が巧みである。マカツサル市でブローチその他精巧なる金モール細工でカンタベリー細工といふものがあるが、これは概ね本族の製作になるものである。その數約百九十九萬人。

バスマ族＝スマトラ嶋の東南の河上に住んでをり、その祖先はヂワといふ太陽神である。マレー族としては稀な紅顏の美容を有し、スンダ及バリ族とゝもに、東印度諸族中の三璧である。家々殺人がは母系を制度とし、夫は妻に服從しなければならない。性勤勉にして貯蓄心がある。祖先を祀る念敎く、死者にはレモン水を打撒いて體を淨め、齒を磨き鼻を洗ひ、白布で卷いて綱で縛り村外の叢林の中に葬る。その數凡そ百萬人。

（以下次頁へ）

謹賀新年
昭和十九年一月元旦

カサ『こり』
津曲諦二
伊藤誠一郎
黑木由太郎
コリエンテス市

カフヱ『朝日』
比嘉德次郎
同　久太郎
松本敬是
東江新一
コリエンテス市

バー「ロス・バンコス」
寺田義雄
寺田秀雄
レシステンシア市

染色店「ハポネサ」
染色店「日本」
玉井榮吉
前門金助
レシステンシア市

染色店『ミル・コローレス』
伊波成一
コリエンテス市

染色店『ハポネス』
濱端加那吉
コリエンテス市

レストラン「ハポネス」
與儀銀藏
同　よし子
同　健一
同　ヱミ子
コリエンテス市

珈琲店『ハポネース』
岩田友志
青木貞夫
前田甚太郎
ラフアエラ市

染色店「京都」
玉城福棟
知念福盛
上間德藏
コルドバ市

カフヱ「ニツポネス」
鶴辰次
仝辰馬
アスール市

染色店「サン・マルテイン」
比嘉新太
ロサリオ市

染色店「ヌエボ・ニツポン」
大城清成
ロサリオ市
コルドバ街二五八二
電話　二五三九一

伊波龜
コルドバ市

永村清治
コルドバ市

（前頁より續く）

セレベス嶋＝トラヂヤー族＝中央高原に住むアルフール先住民族であつて、三支族に分類される。約三十年前までは馘首出草の蕃風を有し、鼠兎人血を飲んでゐたが、近頃に至つて溫順すぎるやうに歸順醫師、下級官吏、布教師などの他野獸の肉を生食し、又千人、東印度諸族中、最も開けた種族である。學校教員、した。容貌マドラ人に似、土俗はフイリツピンのナバロイは盛に馘首の蕃風を有つてゐる族に共通してゐる。迷信深くたが、新教が布教されて、今鷄に關し面白い信念を持つて日は全部がキリスト教に歸依ゐる。鷄を携へて航海するとし、貯蓄心に富み、甚だ勤勉風波が收まると考へ、糞には風波が起まると考へ、糞には魂があつて、これを田に蒔いて酷使してゐるので、祖先は稻が稔るのは魂の蘇生であ日本人と同じであると思つてゐると考へ、死骸は十重二十重ゐるものが多い。水田を作るに布を卷いて牛車に載せ、斷崖に横穴を穿ち、これを集團埋葬する奇風がある。土俗はフイリツピンのイゴロツトに甚だ似てゐる。總數五十五萬七千人。

マカツサル族＝セレベス嶋南部及びマカツサル半嶋に住む一族であつて、ブギス族とその方言を異にするだけで、土俗的には兩族に差はなく、ブギスより一歩優れてゐるといはれる。都會近くに住んでゐるから、或はさう思ふのも當然であるかも知れない。家の構造は萱葺で、千木及び鰹木を飾り、全く我邦の神殿風であり、米を搗く臼には船の形をしたものがある。ジヤワ人に比し外觀が甚だ似てゐるが、性質は情義厚く、かつ尚武の氣慨に富んでをり、殊に長上や酋長に對しては節を守ること嚴しい。長い間オランダ政府に對し戰つたゴアの王家は、本族とアラビヤ人との混血である。情義の念が敎いから、もし一旦人の罵りや侮りを受けると飽くまでも忘れないで報復をする。女の權力强く女子にして酋長たるものがある。その數六十四萬三千餘、セレベス嶋第二の大種族である。

ブギス族＝マカツサル族と外觀異つたことはないが、方言が異り、また家の構造が異る位の差で、學者は互に異種族としてゐる。その數約百五十三萬人、海邊に住み農と漁を業としてゐる。操艇の術に長じ、孤舟に乘つて遠くモロツカス群嶋、ボルネオ沿岸乃至マレー半嶋までも交易往來をしてゐる。しかし奥地に住むものはサロン一枚のみで、上體は全く裸體のものが少くない。俗にオラン・バジュといふ。

ミナハナ族＝セレベス嶋北半嶋の高原に住む一小族であつて、その數約三十六萬六千人、東印度諸族中、最も開けた種族である。學校教員、下級官吏、布教師などの多い。昔は盛に馘首の蕃風を有つてゐるが、布教されて、今日は全部がキリスト教に歸依し、貯蓄心に富み、甚だ勤勉で信仰が敎い。容貌我日本人に酷似してゐるので、祖先は日本人と同じであると思つてゐるものが多い。水田を作ることに熟練してゐるが、高原地帶で氣候もよいから、自然に樂境が同族をして最も優秀なものとならしめたものであらう。

ボルネオ嶋ダイヤツク族＝カヤンとケニヤの兩族があり俗に海ダイヤ、山ダイヤと呼ばれ、海ダイヤは操艇が極めて巧妙で河川を利用して何所へでも往來をしてゐる。大概床の高い一軒の椰子葉で葺いた長屋に二三十家族が集合同居してゐる。これは敵に對して防禦の必要からである。一殿に米を常食とし、早婚であり、女子は故意に心身を弱かしめ、いはゆる蒲柳のものが美人とされ、齒を黑染め、胴や腰に金屬或は籐を何重にも卷きつけ、肥滿しないやうにしてゐる。男女共に拔毛する奇風がある。男子の使用する褌は我邦のものとほぼ同樣である。鳥や山豚に關する迷信深く、鳥の啼聲を聞いて戰の勝敗を占ひ、山豚の肝臟を見て山路の難易を判ずる。頸飾の玉の鑑別には特別優秀な判斷力がある。凱旋踊には女子もこれに交つて、頭蓋を胴や腰に金屬或は籐を何重に巻き、肥滿しないやうに巻きつけ、女子は故意に心身を弱かしめ、いはゆる蒲柳のものが美人とされ、齒を黑染め、

エスコバル紀行

日本語研究會

教師　澁谷源輔

はしがき

日本語研究會に屬し筆者の指導下に日本語を學び且つ數年來、日本及支那、印度等の東洋文化を熱心に研究研讃を積みつゝある外人男女十餘名の一團がある――。此一團の人々は去つた十一月の末であつたが吹く風も涼しかりし日曜の朝まだきレテイロ驛から乘車、エスコバルの賀集九平氏の花卉園並に果樹園の見物見學に赴いたのであつた。

その日往訪者一同は園主賀集氏の御篤志によつてつぶさに園内を觀巡り見學が出來たんと見るからに捨て難たい趣きがあるネーエ……

・あ、いつのまに雲の間から陽の光がチラ〳〵とさして來たなんテ清涼しい朝景色であらう。

變んな名まへ

▲イボドローモ

われらの汽車は、とても變な名まへのくつ附いた驛をいくつか通りすぎてゆくのだつた。まづさいしよ「イボドローモ」

すなはち競馬場のことなんだがドローモなんて響きが悪いよ、ドロ棒に音が通ひ「火事ドロ」「コソ泥」なんかを聯想させるではないか。……ドローモ感心せんテ……お次ぎへ

▲コレヒアーレス

「コレヒアーレス」といふ驛があるネ。あれは「學童」といふ意味なんだらう。しかるにどうしてそんな名稱がバリオの名となつたか。それはどうも明かでない。「コレヒアーレス」を日本語に直譯して見たらどんなものか。

「コレサ、呆れた」…ソソソイツは譯者の僕自身でさへ餘曲折してとほり抜け右手の方にヒツソリ閑とおさまり返つてゐる競馬場の全景を「アレ見よ」がしにわれ等に見せつけて呉れながら、ゆつくりゆつくり急がずに徐行してゆくのだつた。そして市内のチツポケな寂しい驛々や市内と一しよクタになつて仕舞つたプエブロ〳〵の各驛にまでひとつびとつ立ち寄つてわづかしつて行くのであつた。

塲末の朝

けさ、すこし空は曇つてゐたけれど肌へ冷めたいそよ風が吹いてからにとても爽かな心地だ。してそよ吹く風は、ときゞ〳〵街路樹やプラサの樹々の葉裏をサラ〳〵と搔き鳴らして通りすぎる。

くさ深く荒れたる家のバルコンに崩づれ咲いた天笠葵なんど見るからに捨て難たい趣きがあるネーエ……

・あ、いつのまに雲の間から陽の光がチラ〳〵とさして來た。

なんテ清涼しい朝景色であらう。

變んな名まへ

▲イボドローモ

われらの汽車は、とても變な名まへのくつ附いた驛をいくつか通りすぎてゆくのだつた。まづさいしよ「イボドローモ」

すなはち競馬場のことなんだがドローモなんて響きが悪いよ、ドロ棒に音が通ひ「火事ドロ」「コソ泥」なんかを聯想させるではないか。……ドローモ感心せんテ……お次ぎへ

▲コレヒアーレス

「コレヒアーレス」といふ驛があるネ。あれは「學童」といふ意味なんだらう。しかるにどうしてそんな名稱がバリオの名となつたか。それはどうも明かでない。「コレヒアーレス」を日本語に直譯して見たらどんなものか。

「コレサ、呆れた」…ソソソイツは譯者の僕自身でさへ餘曲折してとほり抜け右手の方にヒツソリ閑とおさまり返つてゐる競馬場の全景を「アレ見よ」がしにわれ等に見せつけて呉れながら、ゆつくりゆつくり急がずに徐行してゆくのだつた。そして市内のチツポケな寂しい驛々や市内と一しよクタになつて仕舞つた

優美しい名まへ

いままで變んな名まへのことを考へてゐたが「ビリヤ・デポツウルキーサ」「ビリヤ・デポツト」なんテこんどは優にやさしいひびきを有つた巷の名が僕の耳もとに傳つて來た。それ等はとても賑やかなしてわれ等はとても賑やかな市中の街上に居るわいと思ふてゐるといつの間にか場面が早變りして裏町の洗濯物なんか干してあるのが見えるコンティヨの庭先きに連れ込まれて來てゐる。どうして〳〵都市の郊外的な氣ぶんも風景劇しい舞台の變化だ。舞台は千變萬化する。役者は幻出沒自由自在だ。油斷はできないネーエ。

パンパスを眺めて

「ビリヤ・バリエステル」の驛を離れてしまふとまもなく四邊りの景色はガラリと一變、そこに一切千里の大沃野が展開して來る。と同時に大都市の郊外的な氣ぶんも風景もいつのまにか消え去つて、もう見えやしない。いま僕たちは汽車の窓から右顧左眄しなんである。

かれらは糞沈着きにおち着き拂つていかにも暢びりとした風態で、悠々閑々として草を喰べてゐる。そこには深い〳〵底知れぬ涯りなく長閑な平和境が描き出されてゐる。……でもネ、斯樣な塲面をキヤンパスの上に寫すとなれば よつぽどの大手腕を有つ藝術家ならでは、その實際の半ばをも描出すことは難からうと

パルケであるかの觀を呈してゐる。樹木鬱蒼と生えしげり水を湛えた「タンケ」があつて底の方に金魚などが泳いで

斯んな雄大な塲面に接するとたちまち僕なんか天窓がトホーンとなつて茫然自失して仕舞ふ。そしてたゞボンやりと見惚れてゐる斗りだ。それにしても、すぐさま、僕らの眼に映ずるのは、あの遠地近地に頭を地上につけて、牧草を喰んんでゐる、牛や馬の姿

牛は地上に蠢動してゐる普通の動物とは僕にどうしても思へない。神の恩寵により、天上界で太平樂を極め込み、我が世の春を謳歌してゐる……なにか彼等はネエさうした特權づけられた生物でもあらうかとネ…さういふ風にしか僕には思へない。

× ×

をちこちにうなじを垂れて草を喰む
馬の背中を撫でる春風
車中吟

賀集さんの邸へ到着

レテイロを出で二時間ほどたつと汽車がエスコバル驛に着きました。私共は出迎えに來られた伏見先生のあとについて、男女入り混じつて、驛からエスコバルの街通りをぞろ〳〵と歩き出し、三四町のあひだあつちへ曲りこつちへくねつたりしてゐるうちにプエノス附近では一寸見られないやうな丈けの高い生け垣をめぐらした立派なお邸に突き當りました。生け垣に沿うて私どもはヴェレーダを行くとこれはまたさらに立派なトランケーラの形をした鐵の扉の門があります。門を押し開らいて中にはいり奥の方へと進んで行つて、

「ハイ・コンニチハ、只今プエノスからやつて來ました」とご挨拶申しますと御主人の賀集さんをはじめ奥樣もお子さま達もみんな庭の方へ出て來られました。さうして「ようやつて來た」とばかりに私共をていねいに恭々しく迎へて下さいました。

そこには伏見先生の奥さんきん子女史も二人の子供さんを伴れて見えてゐらつしやいました。きん子女史は牛花のお師匠さんでわれ等の日本語研究會とは日本からお出でになつた當初から淺からぬ因緣のある方なのであります。

賀集園藝研究塲

清酒とした賀集さんのお家の住居、そこの前で小憩後、タキシーが三台やつて來た。われ等はそれに分乘して、程遠い園藝研究塲の方へと送り遣られたのであつた。

研究所といふのは相當ひろい地域を占めて居り恰も一大パテイオの一角に築地があり

この園のまん中ほどに路端に面してちひさなチヤレー式の平屋が一軒建つてゐる。打ち見たところ人は誰れも棲んでゐないかの如くに見える。戸も窓も半開になつてゐるから誰かゞ住んでゐるかとも見えたが、いつまで經つても人影もなし犬猫の姿も見えやせんからテツキリこれは空家にちがひあるまいと思はれた。建物の裏に廻つて見るとそこにパテオのやうな庭がある。木かげほの暗く柳が玉すだれを垂れてゆら〳〵と微風にゆられてゐる。樹の枝に鳥籠が吊されてある。多分この附近に住つてゐる傭人か誰かの所有であらう。

この庭に「さび」とか「侘び」とか云々と謂はるゝ俳趣味の空氣が多内に漂ふてゐる。

タンケの水

この園のまん中ほどに路端に面してちひさなチヤレー式の平屋が一軒建つてゐる。打ち見たところ人は誰れも棲んでゐないかの如くに見える。戸も窓も半開になつてゐるから誰かゞ住んでゐるかとも見えたが、いつまで經つても人影もなし犬猫の姿も見えやせんからテツキリこれは空家にちがひあるまいと思はれた。建物の裏に廻つて見るとそこにパテオのやうな庭がある。木かげほの暗く柳が玉すだれを垂れてゆら〳〵と微風にゆられてゐる。樹の枝に鳥籠が吊されてある。多分この附近に住つてゐる傭人か誰かの所有であらう。

パテイオの一角に築地があり それに上つて見たら碧々とつけたと見えて土手に上り水に手を浸たしてパチヤ〳〵やり出した。金魚が寄つて來るからである。

このタンケの水の色は四邊りの靜けさや寂びし味を一しよクタにしてみんな溶かし込んだやうな色をしてゐる。

「こゝろみにうき世の塵垢いふのではあるまいか。

「こゝろみにうき世の塵垢いふのではあるまいか。

そは兎もあれ、かれら馬やゝ

んで居らんやうだ。筆者はこれまでこの「エレ」をロサリオの略字だと心得て來たんだが異說を唱へる輩も居らないではない。ところでそんなことはまアどうでも可いとして「ベルグラーノR」を日本語化させるとしたらどうすりや可いのか

「ベラ棒奴コラツ」……それで可いと思ふ。

優美しい名まへ

いままで變んな名まへのことを考へてゐたが「ビリヤ・デポツウルキーサ」「ビリヤ・デポツト」なんテこんどは優にやさしいひびきを有つた巷の名が僕の耳もとに傳つて來た。それ等はとても賑やかなしてわれ等はとても賑やかな市中の街上に居るわいと思ふてゐるといつの間にか場面が早變りして裏町の洗濯物なんか干してあるのが見えるコンティヨの庭先きに連れ込まれて來てゐる。どうして〳〵都市の郊外的な氣ぶんも風景劇しい舞台の變化だ。舞台は千變萬化する。役者は幻出沒自由自在だ。油斷はできないネーエ。

パンパスを眺めて

「ビリヤ・バリエステル」の驛を離れてしまふとまもなく四邊りの景色はガラリと一變、そこに一切千里の大沃野が展開して來る。と同時に大都市の郊外的な氣ぶんも風景もいつのまにか消え去つて、もう見えやしない。いま僕たちは汽車の窓から右顧左眄しなんである。

かれらは糞沈着きにおち着き拂つていかにも暢びりとした風態で、悠々閑々として草を喰べてゐる。そこには深い〳〵底知れぬ涯りなく長閑な平和境が描き出されてゐる。……でもネ、斯樣な塲面をキヤンパスの上に寫すとなれば よつぽどの大手腕を有つ藝術家ならでは、その實際の半ばをも描出すことは難からうと

パルケであるかの觀を呈してゐる。樹木鬱蒼と生えしげり水を湛えた「タンケ」があつて底の方に金魚などが泳いで

斯んな雄大な塲面に接するとたちまち僕なんか天窓がトホーンとなつて茫然自失して仕舞ふ。そしてたゞボンやりと見惚れてゐる斗りだ。それにしても、すぐさま、僕らの眼に映ずるのは、あの遠地近地に頭を地上につけて、牧草を喰んんでゐる、牛や馬の姿

牛は地上に蠢動してゐる普通の動物とは僕にどうしても思へない。神の恩寵により、天上界で太平樂を極め込み、我が世の春を謳歌してゐる……なにか彼等はネエさうした特權づけられた生物でもあらうかとネ…さういふ風にしか僕には思へない。

× ×

をちこちにうなじを垂れて草を喰む
馬の背中を撫でる春風
車中吟

賀集さんの邸へ到着

レテイロを出で二時間ほどたつと汽車がエスコバル驛に着きました。私共は出迎えに來られた伏見先生のあとについて、男女入り混じつて、驛からエスコバルの街通りをぞろ〳〵と歩き出し、三四町のあひだあつちへ曲りこつちへくねつたりしてゐるうちにプエノス附近では一寸見られないやうな丈けの高い生け垣をめぐらした立派なお邸に突き當りました。生け垣に沿うて私どもはヴェレーダを行くとこれはまたさらに立派なトランケーラの形をした鐵の扉の門があります。門を押し開らいて中にはいり奥の方へと進んで行つて、

「ハイ・コンニチハ、只今プエノスからやつて來ました」とご挨拶申しますと御主人の賀集さんをはじめ奥樣もお子さま達もみんな庭の方へ出て來られました。さうして「ようやつて來た」とばかりに私共をていねいに恭々しく迎へて下さいました。

そこには伏見先生の奥さんきん子女史も二人の子供さんを伴れて見えてゐらつしやいました。きん子女史は牛花のお師匠さんでわれ等の日本語研究會とは日本からお出でになつた當初から淺からぬ因緣のある方なのであります。

賀集園藝研究塲

清酒とした賀集さんのお家の住居、そこの前で小憩後、タキシーが三台やつて來た。われ等はそれに分乘して、程遠い園藝研究塲の方へと送り遣られたのであつた。

研究所といふのは相當ひろい地域を占めて居り恰も一大パテイオの一角に築地があり

この園のまん中ほどに路端に面してちひさなチヤレー式の平屋が一軒建つてゐる。打ち見たところ人は誰れも棲んでゐないかの如くに見える。戸も窓も半開になつてゐるから誰かゞ住んでゐるかとも見えたが、いつまで經つても人影もなし犬猫の姿も見えやせんからテツキリこれは空家にちがひあるまいと思はれた。建物の裏に廻つて見るとそこにパテオのやうな庭がある。木かげほの暗く柳が玉すだれを垂れてゆら〳〵と微風にゆられてゐる。樹の枝に鳥籠が吊されてある。多分この附近に住つてゐる傭人か誰かの所有であらう。

パテイオの一角に築地があり それに上つて見たら碧々とつけたと見えて土手に上り水に手を浸たしてパチヤ〳〵やり出した。金魚が寄つて來るからである。

このタンケの水の色は四邊りの靜けさや寂びし味を一しよクタにしてみんな溶かし込んだやうな色をしてゐる。

「こゝろみにうき世の塵垢いふのではあるまいか。

姥ざくら

それらの櫻は今や春すぎ夏來たり葉櫻のまさかりである滿開滿濕時の花の美は今これを賞するに由なけれど、あのたい塲か龜甲のやうに透き通る如き幹の色やゆさ〳〵と微風にさやぐ青葉のみづ〳〵しさ等々、是れ、三十坂越した姥ざくら、未だ色香のきえ失せぬ年增女の美を象徴するものでなくて何んであらう……

花のかんばせ月の眉

日本女性の笑顏が寫眞やなぞに大きくうつし出されてゐるのを見るとき筆者はその顏容のあまりに一輪の櫻花に彷彿せるものあるを見て驚嘆時を久うすることがある。その寫眞に現れたる笑顏たるやかのh瓣淡紅の山ざくらの色彩や形にそつくりであつて花瓣の尖端の切れ目まで物を言つてるかのやうに見え、そして彼の女は

「姿やタツた今、山櫻の精から抜け出して來ました」といふやうな面持で、すまし込んでゐなさるやうだ。「花の顏容月の眉」とはこれでせう

謹賀新年
昭和十九年一月元旦

建築請負師
吉田鵜強
在ビセンテ・カサーレス

RESTAURANTE
JAPONES
DE
Luis S. Yamagishi
RIVADAVIA 484
Cordoba

染色店「ラ・サツマ」
ツクマン市
濱田義雄
仝　利光
仝　利雄

カフエ「東京」
大橋良弘
佐藤小一郎
メルセーデス市

洗色店「東京」
淺井政七
メルセーデス市

バー「東洋」
上原清次
コルドバ市

カフエ「インペリアル」
比嘉德永
比嘉繁助
コルドバ市

染色店「東京」
與那峯蒲助
サン・フランシスコ市

中村米助
山口末吉
ベルビジエ市

岡田忠雄
ベルビジエ市

バー「日本」
比嘉眞正
リオ・クアルト市

カフエ「インペリオ」
稲嶺盛益
仲松彌祐
ロサリオ市

カフエ「ハポネス」
伊計武
ベナード・トエルト市

掛福龜眞
仝　政基
ベナード・トエルト市

是れが米國の——デモクラシイなのだ

——强制收容された日系米人の生活——

興亞健作

大東亞聖戰二月七日以前は日本向屑鐵の物發から既に積出を手傳つた大學生、重慶二年を經た。救濟運動に關係した二世、溫明かに人種的順で敬神の人達等、アメリカ偏見の犧牲とに忠誠を見せたと否に拘らずなつて米國憲「日本人の血を享けた」人達法の保障を取の總てを含んで居た。

上げられた日系米人は日本人と一緒に山間不毛の荒廢地に收容されて砂漠の黃塵を吸ひ年ら夏は百二十度近い灼熱に喘ぎ、冬は吹き荒ぶロッキー嵐に凍えて居る。

米國は今何の爲に鬪つて居るのか。「デモクラシイの維持である」と言ふ。此の國では今迄一度も「奪ふべからざる權利」を政府の命令に依つて取上げられた事はない。そして其處に居る日本人の三分の二は米國市民である。彼等は米國に生れ米國の學校で敎育された。それは丁度アイルランド、イタリー又は瑞典に生れた人達の子供がアメリカ人であると同じ樣に、彼等日系米人は立派な米國市民であるといふ信念を以て敎へ込まれ成長したのである。然るに日米開戰後幾何もなく彼等二世は外國人である日本人と一諸に家庭から引揚げて軍隊が用意した「强制收容地」へ牛馬の群の樣に逐はれて行つた。

斯うした日系米人の生活をたと稱す）が、收容所から解放された夫の許へ急ぐ列車內で自分の子供と靑い眼のアメリカ少年が戲れてゐるのを見て直感したのは左の通りのものであつた。

本當の、そして唯一のデモクラシイがあるとすれば、それは子供の心が大人の偏見で未だ汚されない時代迄のデモクラシイがあらう。

之が自らアメリカ市民であることを誇つた此の二世から出た僞らざる告白であり米國人の心臟を刺る一大打擊であつたと言ふ。實に然り。如何に二世がアメリカの國家に忠誠であつても其國家自身は彼等を裏切つたものに外ならない。

强制收容された二世には、農業勞働者や其家族、一般市民、アメリカ人との婚姻に因つて金髮を交へた美少女。十の途である」と獨善的に結んだ譯ではないか——

此の言葉は、自分達はアメリカ市民と確信して居た日系米人の心臟を刺る一大打擊であつたと言ふ。實に然り。如何に二世がアメリカの國家に忠誠であつても其國家自身は彼等を裏切つたものに外ならない。

强制收容された二世には、農業勞働者や其家族、一般市民、アメリカ人との婚姻に因つて金髮を交へた美少女。十の途である」と獨善的に結んだ。

人をインデアン並みに扱つた事になる。人跡未到の土地に軍隊を繰出し、ニューギニア方面のジャングル進軍に使ふバルドザーを使つてどうやら地ならしたもので普通文明人が住み得れば不思議な程夏冬共溫度の激しい土地である。

この移住地に一歩入るとその一部が野菜畑になつて居が强制收容したのは、開戰を偏見の犧牲とに忠誠を見せたと否に拘らず好機として「好ましからぬ黃此の傍を通つて引揚民の住んなつて米國憲「日本人の血を享けた」人達でゐるバラックに行き着く。

法の保障を取の總てを含んで居た。

上げられた日系米人は日本人と一緒に山間不毛の荒廢地に收容されて砂漠の黃塵を吸ひ年ら夏は百二十度近い灼熱に喘ぎ、冬は吹き荒ぶロッキー嵐に凍えて居る。

米國は今何の爲に鬪つて居るのか。「デモクラシイの維持である」と言ふ。此の國では今迄一度も「奪ふべからざる權利」を政府の命令に依つて取上げられた事はない。そして其處に居る日本人の三分の二は米國市民である。彼等は米國に生れ米國の學校で敎育された。それは丁度アイルランド、イタリー又は瑞典に生れた人達の子供がアメリカ人であると同じ樣に、彼等日系米人は立派な米國市民であるといふ信念を以て敎へ込まれ成長したのである。然るに日米開戰後幾何もなく彼等二世は外國人である日本人と一諸に家庭から引揚げて軍隊が用意した「强制收容地」へ牛馬の群の樣に逐はれて行つた。

斯うした日系米人の生活を

取扱つた雜文の中に、中年の日本人醫師が二世に次の如く語つてゐる件がある。

——これは私達一世にとつて誠に遺憾な事だ。然し私達には少くとも國がある。私はあなた方二世—日本人を親に持つて米國に生れた市民—に對しては一層御氣の毒に思ふ。何故ならあなた方の國であるアメリカがあなた方を裏切つた譯ではないか——

此の言葉は、自分達はアメリカ市民と確信して居た日系米人の心臟を刺る一大打擊であつたと言ふ。實に然り。如何に二世がアメリカの國家に忠誠であつても其國家自身は彼等を裏切つたものに外ならない。

强制收容された二世には、農業勞働者や其家族、一般市民、アメリカ人との婚姻に因つて金髮を交へた美少女。十の途である」と獨善的に結んだ。

人をインデアン並みに扱つた事になる。人跡未到の土地に軍隊を繰出し、ニューギニア方面のジャングル進軍に使ふバルドザーを使つてどうやら地ならしたもので普通文明人が住み得れば不思議な程夏冬共溫度の激しい土地である。

この移住地に一歩入るとその一部が野菜畑になつて居が强制收容したのは、開戰を偏見の犧牲とに忠誠を見せたと否に拘らず好機として「好ましからぬ黃此の傍を通つて引揚民の住んでゐるバラックに行き着く。

このバラックは陸軍の設計通りに建てゝあるから何だか間放してゐるのは勞働力の極端な不足—特に農業勞働の補充に振向ける爲であつて飽く迄も政府の御都合主義に基く。解放された二世は何も「アメリカに對する忠誠」を政府に認められた譯ではない。從つて强制收容所に對する政府の態丹には一定方針が見出されず、朝令暮改、披收容者の取扱振りも全く政府自身の便宜主義に則してゐる模樣である。先頃我々はカルフォルニア州チーク・レーク收容所の紛爭事件を聞いた。更に舊代表國西班牙を通じ日本人及日系米人に對する收容所の取扱振り及び居住狀態を精査する迄は大東亞圈內居住英米人との交換に係る新交涉を日本政府が拒絕した旨國務省から發表された」と報じて居る。

强制收容されて約二年に近い今日、日本人及び日系米人の生活はどうであらうか。米國政府當局からどんなに扱はれてゐるか。二世達はこの體驗をどう發表してゐるか。

昨年八月末アリゾナ州ポストン收容所を視察した米人記者の手記を讀むと、大體次の如き程度である。決して「罪のない」普通人を扱ふ態度とは受取れない。それに米國政府の檢閱を受けて發表されてゐるものだから尙一層割引して理解する必要があらう。

一、ポストン收容所の位置及び構造

カルフォルニヤ州ニードルスから約七〇哩距つて居りインデアンへの取置地の中にあつて水道が布かれた唯一の

移住民約二六〇名を一ブロックとして之が各アパートメントに分れてゐる。アパートメントは建坪六坪位の大さで二人から五人以上の家族が住んで居る。一ブロック每に男女別の共同便所、洗濯所、アイロン室がある。それに各ブロックに大食堂があつて、食事は陸軍兵站部から支給されこうしたブロックは總計七十二に及んでゐる。

日本人及び二世は溫暖なウエストコーストから夏は百二十度もある砂漠にやつて來たのであつて、入所當時は寢台用の藁と毛布を與へられたのみ。而も嚴寒の風に吹きまくられ初めて寢る日から寢床を作らねばならなかつた。バケツ、箒、テーブル、其他家具も備付けてない。彼等は寒さを忍んでバラックの殘り木で作り上げたのである。收容所の役人も日本人の辛抱强さと器用に感心したであらう。暫く經つてから各アパートの窓用の帳ひ始めた。これが其當時の唯一の慰安であつた。

收容されてから約半年も經つて水道が布かれたので、日本人はこれを記念して「一九四二年七月四日ポストンの開拓者此處に立つ」の悲壯な標識を立て、廻りに桑を植えて居る。

＝續く＝

謹賀新年

皇紀二千六百四年一月元旦

亞國政府許可資本金五十萬ペソ

亞南信託株式會社

營業

一、信用定期現金ノ預託
二、故國送金ノ仲次
三、商業手形及ビ一般手形ノ割引
四、一般金融及ビ投資
五、一般ノ擔保附貸付（土地、家屋、商品及プレンダアグラリア）
六、不動產及ビ資本ノ管理
七、証券、株券ノ賣買
八、家屋土地店舗及ビ商品ノ賣買
九、倉庫業（商品）及ビ証券ノ保管
一〇、手形、利札及ビ月賦拂ノ取立
一一、土地家屋店舗ノ賣買及ビ借用契約書ノ仲次

謹賀新年

昭和十九年元旦

有限責任

プエノスアイレス花卉產業組合

組合長　那十太郎
副組合長　ホアキン・グールピデ
幹事　アントニオ・シアルリエーロ
會計　清水川集九平
取締役　賀地喜代治
同　菊
同　アマデオ・フエイラー・モンテイロ
同　アレハンドロ・ポミリオ
同　進士義雄
同　高橋九一郎
同　安川甚
同　吉宮忠市
監査役　サルバドル・カルメーロ・ラウリーア
同　牧野右內
支配人　岡嶋榮一

謹賀新年

昭和十九年一月元旦

大畑勇
海野若雄
ペルガミーノ市

明興園本園
賀集九平
サルミエント街六五一
エスコバル驛前

明興園生育部
賀集万吉
エスコバル（F・C・C・A）

理想園
賀集九平
小池七郎
エスコバル（F・C・C・A）

賀集園藝研究所
賀集九平
エスコバル（F・C・C・A）

染色店「パポネーサ」
比嘉元盛
サルタ市

石原喜右衞門
山口武雄
翁長武一
藤田正夫
比嘉和義
仝和盛
上野民譽
森谷
清水勳
山內一正
宮崎川太
石原道德
石原淺吉
大城三郎
知那定輝

（北米第二世）五頁より

丈で、如何にして兩親が知合うになつて來た。然しもう晩ひになつたから其家族がどうですぎる、何故ならば第一世はあるかも知らないのだ。何たる言語の障壁よ！書は老父は小さな畑を耕し――それが一家の家計の根底をなす――母は懸命に休む間もなく家事と賃仕事をやつてゐる。夜は父も母も日本語の新聞を讀み時々は日本のレコードに耳を傾ける。母が時々歌の意味を私達に說明してくれるが中々解らない。歌そのものの音樂は中々面白く西洋音樂の影響が顯著なのが了解される。然し日本語の新聞に至つては活字の羅列以外の何物でもない母が時々話して呉れる日本の小說も、どの頁もどの頁も不可解の活字の羅列である。私達子供等は英語の雜誌を讀み、小說を讀み、御互に自由に話をするが、兩親との話はカタコトでしか出來ないのだ。家庭によつては、子供等が兩親を解せない爲めに家は面白くないと云ふので、夜遊びに耽つたり、家庭によりつかぬやうな事になつたりする例が非常に多い。之は全く言語の不通からくる家庭的悲劇であるどこの兩親でも額に汗して働く、自分の身のことなどは全然念頭におかず、その眼中にはたゞその子供の福祉があるのみだ。これが西部にゐる日本移民を支配してゐる精神である。彼等兩親はその子供に万幅の希望をかけて生きてゐるのだ。然るに第二世はその兩親の恩に必ずしも報ゆる事が出來ない。力もなく機會もないことが多い、兩親の犧牲に對して感謝の念さえ抱くことの出來ない第二世も少なからずあるのだ。言語の障壁が子供達をその兩親から離してしまふので、親子の間の溝は段々深く廣くなるばかりだ。その上に第一世は日本的習慣に必要以上に執着するから親子の相克が增加する。日本人の親と米國人的子供の間の相克摩擦は世紀の悲劇にあらずして果して何であらうか。

第一世が老ひ込むにつれて第二世が長じて行く。家庭はアメリカ風になつて行く。デコレーションや服裝も、食事もアメリカ風になつて行くにつれて第一世も今まで、其地にありながら、知らうともしなかつたアメリカといふものを子供等に敎へられて知るやう

思ふがまゝに

片山良平

拜啓時下嚴暑之候貴社益々御隆盛之段奉大賀候

陳者今回は、又新年號に、何か書けとの御注文に接し、光榮至極毎々御引立ての段恐縮に存じ居り候

既に御承知の如く、蚊取線香屋事、夏の短期間中に、一年分の食ひぶちを稼ぎ出さうと云ふ、まことに以て、氣忙わしい商賣に有之、朝から晩迄二六時中汗ダク〳〵になりガチャ〳〵と駒鼠の樣に働き候ても割合ひに儲け少く、然かも阿部川餅の樣に、身も心もヘト〳〵に相成り居り候折柄御意に添ひ難き旨申入れ候へ共、いつかな御聞き屆け無之候小生如きが誤つて駄句を連ねる事は、少くも貴重なる新聞紙面を汚すのみなる事を、心得乍ら、不都合にも、思ふがまゝを、禿筆の走り書き左記の如くに有之候

× ×

右は、小生が時報社宛の書信之一部に有之候、又、不老の奴が好い氣になつて駄句をなと御叱言など有之候はば、そは其の出駄羅目を活字に組みて發表せる編輯者の罪に有之候事豫め御斷り申上げ置き候

異國の正月

つら〳〵考へ申すに、一年とは參百六十五日に有之候、去年の正月は昨日の樣、いつの間にやら又夏が來て、暑いん。新年を南國アルゼンチンに迎へ申候

瞬く間に來る新年を迎へては、流水の如き月日の早さを泌み〴〵と感じ入り申候

大戰勃發以來祖國と絶緣狀態に相成り候て此處に三度目の新年に有之候、日本船の出入り有之候節は、何は無く共き出します。私もその例に洩れず、五六、年前より自分の元氣の衰へ始じめた事に氣がくりて、日本酒に舌鼓を打ち七五三繩や門松など思ひ浮べなつかしの日本を忍び申し候ひしに、今はそれも、相叶ひ申さず、まことに以て殺風景暑い正月に、ケーソをつまみ乍らセルベーサでは、ピンと參り申さず寂びしき限りに存ぜられ候

寒むい冬!! 雪の正月——日本戀し。

お灸をすゑる

私の云わんとする、お灸をすゑると云ふのは、惡るい奴に懲惡の意味ですゑ樣と云ふのではなくて全く保健治病を目的としての事であります。

京都では、子供が惡戯が過ぎたり、或は親の云ひつけを聞かなかつたりすると、お婆や母が、線香と艾を持ち出して來て、泣き喚くのを壓へつけて、やいとをすゑる習慣があります。自分も幼少の頃、數度やられた事のあるのを未だに、記憶してゐるのであります。ソレ!! やいとをすゑるぞと云へば泣いた子もだまり、恐ろしさに逃げ隱れたものであります。

今之を考へますると、子供に懲戒を加へると同時に健康の增進を計ると云ふ、一擧兩得の中々面白い方法だと思はれるのであります。

以來五十になる今日迄、お灸などは、昔の時代遲れの人のやる氣慰め位ひに考へ、小馬鹿にさへしたものでありましたが、人間も五十近くになると、病氣で寢込まなく共、アチコチをネジが緩んで來て判然としない故障が起つて來るのをどうする事も出來ません。ハチ切れる樣な元氣な時や、さては豫防が必要だと聞かされても、一向耳に留めるものではなりません。だが元氣が衰へるか或は、屢々病氣に見舞われるとなると、扨て態に相成り候て此處に三度目の新年に有之候、日本船の出入り有之候節は、何は無く共き出します。私もその例に洩れず、五六、年前より自分の元氣の衰へ始じめた事に氣がつき、相成る可くは病氣はしたくないものだ一日も長命であり度いものと思ひ、お灸の實功を疑ひ乍らも始じめて見たのであります。同時に嫌ふ事は確かにおキュウの御蔭で、今尙ほ續けてゐます。

私がおキュウをすゑ始めて其戰果は見られなかつたのであります。

効果を知つて以來知人の幾人かは、私の體驗に仍り顯著なものであることを確言致したいのであります。傳へられる所、お灸は、昔支那より傳來した漢方醫學の一科として廣くわれてゐたのであります。吾々の祖先は、治病保健の鍵として重寶して來たのであります。

所が西洋醫學が輸入されるに至り其進歩と共に、漢法醫學も又其の一科たるお灸も一般世人に忘れ去られやうとして、只だ一部の人達の間にのみ行れてゐたと云ふ、衰微のあつたのを樫田、原田兩醫學士が「灸治に就て」なる論文を東京帝國大學に提出されてから、古來よりの皇漢醫法の研究が勃然として興り、それ以來、數名の專門家は、灸の生理的影響及び其効果に就て研究し、其の結果キュウ治の眞價が科學的に發表されるに至つたのであります。

日本の醫學界がお灸の眞價を認め證明される樣になつてからは、從來灸を問題視せなかつた傾向のある有識者間にも俄然認められお灸黨が逐日增加し最近はお灸に依る健康增進報國會と云ふ會さへ現われるに至つた事を雜誌は報じてゐます。各雜誌社は競つてお灸を專門とする醫學博士等のキュウ法を公開し、其効果を稱揚し宣傳に勉めてゐるのを見受けるのであります。

私の鄕里京都には多くのキュウ治所がありまして、何れも相當な繁昌を示してゐます。中でも京都二內の安井神社側に安井のキュウと云ふのが古くよりありまして、毎時下駄を整理してゐると云ふ繁昌振りであります。其の安井のキュウ屋さんの息子が醫學を修め、血液學士より、キュウの作用及び其本態を闡明し之れに依て醫學博士の榮冠を得層高からしめ益々隆盛を來たしてゐるのであります。私は家傳安井のキュウの眞價を一般世人に知らしめたのであります。

効果は皆其効果のある事に滿足しつであへられます。かゝるが故に、私は治病、保健の一方法として、比較的効果の多いおキュウが簡便にして經濟的なのを持つて來て貰らつたのであつたが、今はもう殘り少くしかも業者の指導を得るか、又は、キュウ療手引書などを參照し、各自家庭で割合たやすく實行の出來るといふ點に於て、是非試みられる樣御すゝめする次第であります。

効果あるおキュウをすえてゐれば少々不攝生をしても差支へ無からうと考へる人があつたらば、それは誤りで、恰かも醫藥を服んで不養生をするに等しく熱いめをしておキュウをすえる要はないのであります。またおキュウが効くからと云ふので、三日坊主でやめてしまつては、其の眞價を知る事は出來ないのであります。專門家は、何れも、始じめた以上辛棒强く續ける樣强調してゐると云ふ事を此處に附言して置きます。（終り）

謹賀新年

昭和十九年一月元旦

賀正	梶田修一	中村正
賀正	內藤鶴雄	太田千代繁
賀正	宮里政康	佐々木米松
賀正	田港朝全	岩淵哲夫
賀正	高野賢	菅原長吉
賀正	金子榮	三塚一郎
	山口吉三郎	齋藤正作
	山下八郎	高倉謙
	園田矢四郎	成田彰
	泊哲男	庄司善七
	仝武彥	
	德門清英	
	安里清保	
	安里長秀	
	有富實雄	
	森熊夫	
	中本權平	

齋藤彥藏
仝義登
ラモン・フアルコン街二三八六
電話六三一〇七三三

カフエ「さつま」
加藤吉隆
竹ノ內武義
久松純義
有水君子
ヘネラル・オルノス街五四
電話一三一〇五二六

東京堂時計店
守屋利夫
エントレリオス街五四一
電話三八一五六一七

染色店「ハポネサ」
川上亮吉
川上勇
サンティアゴ・デル・エステーロ街一四〇七
電話二三一二七〇六

大城盛德

カフエ「ハポン」
王城金榮
アベジヤネーダ市
コロン街四三八

カフエ「スエポ・ハポネス」
仲宗根宗龜
仝宗睦
レシステンシア市

染色店「朝日」
宮園新之助
同三郎
同博義
本店 チヤルカス街一八七三
支店 バルトロメ・ミトレ街三五二
リバダビア街三五一九
リバダビア街五一九九
サン・フエルナンド町
コンスチツシオン街一四八

谷本拓肅

宮田榮造
田代稻十郎

水野武義
小針清次

オンブーの話

G・S生

こんなに濶ろいパンパスにな詩的情景に誰か心を打たれ樹らしい樹が一本だに生えてない野暮漢があるであらうかゐないといふのは可怪しい。必ずしも古い唐宋時代の愁人どうしたことか。奇怪不可思議ではあるまいか。牧草「トレボル」「グラミーヤ」「アルファルファ」、或はまた雑草ても、あのしよんぼりと立つ「ジュウジョ」「カルド」「アブローホ」等々其他色んな草がした瞬間には蒼々として生え蔓つてゐる。

にも拘らず、見わたすかぎり樹木は一本も見えない。見えたらそれやエスタンシアの白楊かユーカリプトの森樹か何かの類で、どうせ人爲的に栽培されたものでしかない。

ならずとも、如何に物質黄金万能のセチ辛い現代に握捉し屈ばりついてゐるわれ〳〵だとしたオンブーの可憐な姿を遠望した瞬間には

アレ〳〵見えます　ほんのりと

オンブが見えます　ほんのりと

と口誦んで天下一品と夢めそやして嘗然然るべき礎節の一句

斷じてそれはパンパの生え拔きではないのである。

しかは言ふものゝ、生えぬきの樹が生えて居らぬといふ處にパンパスのパンパスたる意義があり、特異性がありかつ又、この世に存在する萬物の最も貴ばるべき獨自性（オリヒナリダー）なんかもそこにあると見なければなるまいてゐるかそこのみならず、眞實のこと言ふちや樹が一本も生えてゐないと云ふではない。オンブーといふ立派な樹がいつの世とも知れぬ遠い昔からちやんと生え居るんである。

さてこのオンブーといふ木は濶ろいパンパの片ほとり孤影さびしく消然と、野中の一本松然として生えてゐるのが普通である。さうして矢鱈とこにでもさう澤山見出さるゝ俗樹ではない。但し一本松とふ云ても一本斬られた關の五本松と何かの關係ありや否やなぞといふ問題に至つてはこゝで取り上げる必要もない。だがそれにしてもあの謠曲に出て來る高砂の松や尾上の松なぞいふものは遠くから眺めたオンブーの姿にどうも、よう似てるやうに思はれてならない。

行けども〳〵涯しなく平々坦々何んの奇もないダダッぴろいカンポにたゞ獨りオンブーが遠い地平線の彼方にポンノリと霞の中に姿を現はしてゐるのを見ると、その感傷的

「松が見えます　ほの〴〵と」

「松が見えます　ほの〴〵と」

位は思ひ出さずには居られまい。

さて、話は變る。アルゼンチンの詩人はオンブーをどんな風に眺めどんな風に觀察しにあると見なければなるまいてゐるかそこの處少し觸れて見よう。

この國でオンブーを謳つた詩の中で最も人口に膾炙してゐるのは、ルイス・ドミンゲス作の『ユル・オンブー』であらう。これは小學教科書の卷六七位のところに出て來るから可なりむづかしい内容が盛られてある。形はむしろ詩といふより散文に近いものだ。なぜならそれは全文にわたつてパンパやオンブーに關し細々とした叙述的說明なんだ。

そしてオンブーとパンパスに託して然ゆる樣な愛國の情熱の迸りをところ〴〵に見せて居るからそれの箇所を譯してお目に掛ける。先づ此詩の出だしの文句が振つてゐるからそれを最初にお目にかけようと曰く

「何れの國でもその國の氣候風土に隨てそれ〴〵名物があるものだ。例へばブラジルには炎熱燒くが如きおてんと樣がある。ペルーの國にはキラ〳〵光る銀がある。モンテビデオには丘がある。そしてわが麗はしのアルゼンチン國には廣莫無限のパンパがあり、パンパにはオンブーがある」云々

次節に來て

「ひろい平野のパンパスは眼界遮ぎるところなき綠の大海原にして、今なほ人力もて開くこと能はぬ神秘の扉に閉ざされてゐる。『パンパ』なる名稱はその昔一原住民族に命名せられてゐた名であつた。而して何人も彼れパンパ族を能く征服する者はありはせなんだ」

なか〳〵凄味を帶びた意味深長なことゞほのめかしてゐる。

次ぎにパンパの地形地味産物、これに棲む鳥、獸等詳細に叙述して行く中に次の一節を見出す。

はるかに見ゆる丘のうへひとり巍然とそびえ立つあな雄々しのオンブーや雲をも凌ぎていや高く勇姿さながら大海の闇夜をてらす燈明台

この一節はラミーレス大統領を象徴してゐるかに見える。原文も御參原考までに添えて置きませう。

En la cumbre de una loma
Que se alcanza a divisar,
El ombú solemne, airoso,
De gallarda, airosa planta,
Que a las nubes se levanta
Como faro de aquel mar

謹賀新年　昭和十九年一月元旦

吉田仁吉　ヤス子　憲明　善次郎　萬里枝　武子　紀美子　文子

貴島滿德　青木小一郎
安里永行　山崎忠直
仝　永光
梶山島圖　前川雪江
松浦道政　中山藤四郎
吉永伊勢松　村上四郎
古島勘太郎　大城吉義
糸長宅馬　カフエ「富士」高原　ビジヤ・マリア市
金城武治　那須壹郎
新里正廣　蒲田國五郎　仝　等
新垣良廣　蒲田確藏

賀正　貝原由恭
賀正　守與兵衛　ブラガード市
賀正　川路吉盛

バー『日本』
比嘉松福
宮城昌輝
與名嶺盛輝
二五・デ・マーヨ街四三七　電話　三一ー二五八三

ラ・ムスメ
木村政太郎
スイバーチヤ街三五九　電話　三五ー二五六五

西坂商店
西坂貫太
アウストラリア街一一〇一　電話　二一ー二九一五

CAFÉ TURIPAN
新里光好　大城仁勇　川添直吉　新里武信　勢禮正義
レアンドロ・アレム街一五〇〇　電話　四一ー〇一六〇

ゴールドン・バー
大城幸仁
サン・マルテイン街九三〇　電話　三二ー一四三五

染色店「ハポン」
新垣賀眞　比嘉篤昌　仝　英夫
ロサリオ市

仲兼久長榮
サルタ市

カフエ　バー　日本
玉城源八
アベジヤネーダ市　コロン街四六〇

賀正　原田四郎

卸賣專門
仲禰干魚店
アベジヤネーダ市　ピルコマーヨ街二一二一

中本勇　白鳥幸人　寺澤正三郎
比嘉昌龜　菊地卯三郎　村山納

昭和館
二五・デ・マーヨ街三三〇　電話　三一ー五一四五

染色店「ハポネサ」
安次富三郎　仝　寛補
アスール市

だるま亭
ボリーバル街一五五六　電話　三二ー四〇九二

染色店『東京』
木村
ボサーダス市

カフエ『東京』
ドローレス市

兩角榮　菅沼久太郎　仲村渠恒郎
森正男　壇澤長助　小園與四郎

忌中に付き年賀の禮を欠く

年頭所感

田川清

大東亞戰爭勃發以來聖戰茲に三度の新年を迎ふるに當り未曾有の國難に際して弛まず怯まず必勝の信念の下に戰ひつゝある祖國同胞の男々しい姿を眼に浮べるや切である。

平和なる中立國亞爾然丁國に住む吾等、身は戰火に遠く例え戰塵を浴び砲煙を潜るの體驗は受けずとも滅死奉公以て忠君愛國の誠を盡す日本人の心構えを一分たりとも忘れる者ではない。

而も傳統的に平和の國であり親日的である亞國は中立を守り在留同胞に對して表面何等の壓迫も加えず日常生活の不安も直接殆んど感じないと言ふのが僞りなき實相であるが故に、敵國に抑留されて動きのとれぬ同胞に比して論外に幸福である可き筈の吾等も思ひ一度び大東亞に及べば、身を以て國に盡す事の出來ない不遇を忍ぶ心苦しさを持つのである。

思えば戰に明け戰に暮れる亞細亞大陸に、西南太平洋に天に地に海に縱橫無盡の活躍に日も尙足らず、數を頼りに攻め寄せ來る敵の大軍を擊退殲滅、文字通り鬼神も避くる大戰果を擧げつゝある同胞將兵の勇姿を思ひ浮べては「吾等の分まで働いてくれ」と念願久しくその武運長久を祈つて息まないものである。

感謝、感謝、吾等は祖國銃後の國民同胞に感謝し、第一線に立つ同胞男士に感謝すると同時に、想像に餘る困難を排して敢然と中立を守る亞爾然丁國に對しても亦滿腔の感謝を捧ぐる者である。

思えば昭和十八年は開闢なき戰の一年であつた。この一年は正に日本にとつて、一方に於ては執拗なる敵反擊の擊退であり、一方では大東亞建設といふ大理想實現の年であつた。

反面敵米英にとつては緒戰以來の敗勢挽回に躍起となつて凡そ無謀に近い大規模な反攻を繰り返し、その都度日本陸海空軍に敲きのめされて茫然無慘な敗戰の一年であつた。

茲に彼我の戰果を比較してみるに天は常に正しき者を味方すると言ふ眞理は正に大東亞に於て實現したと言ふことである。大東亞諸邦の獨立と民福の爲に戰ふ正義日本がどうして勝たないで居られようか。

思え、似非人道の本家本元たる敵英米の欲するところは徹頭徹尾東亞民族の隷屬と資源の獨占に外ならないではないか、彼等の野望を挫き明るい大東亞を建設し延ひて世界新秩序の樹立に寄與せんと念願して聖戰する日本に比べて英米の利己的位が敗退するのは天の理であるのである。

大東亞における彼我の攻防戰は昭和十九年に入つて益々烈しくなり大決戰が繰り返えされるであらう事は想像に餘りある。敵米國が天文學的數字を擧げて大聲呼號する豐富なる物資と人的資源がものを謂ふか、一方十億の東亞人を味方とし有り餘る資源を占有し開發に利用に今やの全能力を發揮する段階に達したと謂はれる日本の眞價がものを謂ふか、思えば戰前の不足勝な物資を以てしてさえあれ丈け攻めの驚異的戰果を擧げた日本のことであれば今や無限の資源を背景に持ち、加えて日本軍の旺盛なる戰鬪精神が彌が上に發揮される時を想像すれば勝敗は既に決したものと言つて誤りはあるまい。

然りと言えども敵を侮り自らを欺く事は禁物である。

〃敵英米を恐れるな、そして侮るな〃と相戒めて國家總力戰の矢面に立つ祖國の同胞を省て、外國に在る吾等も亦同じひ心構えを持つて日本國民の本分を盡し度い。

想ふに敵側の宣傳は新年に入つて益々執拗を極めるに違ひない、敗戰を逆宣傳でごまかす敵の常套手段は新聞ラヂオ等を通じて戰爭の實相に疎い中立國人を惑はすに違ひない、然し下劣な敵側の神經戰術の効力は流石にお人好しの中立國人さえもはや相手にしない。

(一九四三・十二・廿六)

於ビージャ・マリーア市

昭和十九年　謹賀新年　一月元旦

澁谷源輔
喜屋武哲雄
小原謙
善野貞雄
仲間平助
武市醫科大學産科卒業 助産婦 山内エリサ 電話二六ー三七七八
緒方義雄

長江定吉
國際文化振興會聯絡員 榛葉贊雄
池田誠造
野田金八 ビジャ・マリア市
石川情繁
河西勝雄
小園重正

西和文活版印刷 日本堂 北川稔 サンティアゴ・デル・エステロ街九七五 電話 二二三ー七八六四

染色店「東京」 大坪喜義 ペドロ・ゴヂエーナ街七〇 電話 六〇ー三五三〇

染色店「さつま」 水流武一 カリヤオ街一三二五
染色店「マコン」 水流庄吉 サンタ・フェ街二七五八

新屋敷豆腐店 モンテス・デ・オカ街九五八 電話 二一ー四三八二

レストラン『横濱』 染色店『横濱』 大城謝花共營 コリエンテス市

山元榮治
福間桂四郎
青沼武治
カフエ富士 コルドバ市
有水藤雄
中川清藏
梶原猪太郎
川村南海男

東洋バー コリエンテス街三四二

染色店「ロス・7・コローレス」 本庄兼吉 サンティアゴ・デル・エステーロ市

ミシヨネス州 オベラ カンポ・グランデ カンポ・ヴイエラ サンタ・アーナ サン・イグナシオ ラ・オテイリア ナランヒート コルプス方面 入植者一同

佐川完隆
若林フランシスコ
備勢茂義
長濱幸俊

片山洋服店 ピエドラス街五七二

染色店「ヌエボ日本」 内間安義
クエジョ洗濯部 知念仁和 モンテス・デ・オカ通二五七

亞爾然丁時報社
松野新吉
加藤正夫
本田廣吉
菅井榮四
岩下重信
水野勉

昭和十九年　謹賀新年　一月元旦

平松商店
平松孫市
ボリビヤ國ラ・パス市
メルカード街一一七
私書函四七五

小森商會
暮國ラ・パス市
コメルシオ街
私書函六八二

佐橋商店
佐橋忠治
ボリビア國ラ・パス市
ヤナコチヤ街二六二
私書函四三六

一九一四年創立
直輸出入卸商
清藤商店
清藤幸吉
本店　ラ・パス市アベニーダ・ヘネラル・カマチョ角コロン街
郵函九一七
支店　コチャバンバ市　ナタニエル・アギーレ街
郵函二二〇

ラ・パス市
日本人庭球倶樂部

藤池商會
藤池保
ラ・パス市アヤクーチョ街一四七
郵便私書函五二七

落合商店
落合柳一
ラ・パス市
郵便私書函二一八一

コンフイテリーア・プリンセーサ
表廣治
ラ・パス市ヤナコチヤ街二八四

山本商店
山本喜太郎
ラ・パス市コロンビヤ街五三

高等撞球場
山本喜太郎
高岡仙一
ラ・パス市コメルシオ街五三二

在暮外務省商業實習生
瀨田正七郎
高倉洋一
大宮直治
古山實

高岡商店
高岡仙一
ラ・パス市コメルシオ街四二九

バサール・ヌエボ・ニツポン
道又鐵彌
ラ・パス市コメルシオ街四八一

中園謙二
ラ・パス市

石原伊三郎
ラ・パス市

バサール
大泉商店
大泉古平太
ラ・パス市ヤナコチヤ街
郵函四三七

山根慶久
ラ・パス市

新谷二郎
ラ・パス市アロイヤ街一八六

高等御調髪所
上運天英盛
ラ・パス市ヘナロ・サンヒネス街三八七

佐々木善七
ラ・パス市

カフエー・ハポン
濱田四方平
ラ・パス市ヘナロ・サンヒネス街一七一

高等御調髪所
小關正龍
ラ・パス市サンタ・クルース街二三

昭和十九年　謹賀新年　一月元旦

小森敏弘
人絹織物工場主任　小森幸一
カミーサ工場主任　小森增一
ラ・パス市
私書函六九三

昭和商會
西西　電三郎
西　了
ラ・パス市コメルシオ街六四八
私書函八四四

ラ・パス市
在暮日本人會
會長　藤池保
副會長　佐橋忠治
役員　一同
會員　一同

吉崎耕造
仝正行
ラ・パス市　郵函二一一二

總資本金六百萬暮貨
株式會社
農事會社
落合柳一
小森啓良
藤池保
西電三郎
佐橋忠治
中園謙二
澤屋商會

バサール・ウニオン
川村芳雄
ラ・パス市コメルシオ街
私書函七九九

ワイシャツ工場
比嘉良光
ラ・パス市アベニーダ・十六・デ・フーリオ四一
郵函四五

澤屋
ラ・パス市

松屋商店
田中壽夫
洞野勇
櫻木義信
市川壽三郎
平松民義
眞鍋辰夫

早川商店
ラ・パス市ロアイサ街二〇〇
郵函一九

高級飲食店
大泉古平太
大泉虎雄
ラ・パス市コメルシオ街五四九
郵函四三七

小淵三男
ラ・パス市

バサール・エル・ソル・ナシエンテ
竹内隆
コチャバンバ市

バサール・スナハシ
砂橋サルバドール
コチャバンバ市

井門泰
ラ・パス市サガルナガ街二二七

高崎飲食店
比嘉良德
勝子
ラ・パス市ファン・デ・ラ・リーバ街一三〇

高等御調髪所
佐々木三十二
ラ・パス市マリスカル・サンタ・クルース街三九

日用品雜貨商
清成兄弟商會
ラ・パス市ランサ街
郵函五四二

高等御調髪所
中元中治
ラ・パス市ファン・デ・ラ・リーバ街三六

眞鍋辰夫
ラ・パス市